

## Ⅱ 調査結果

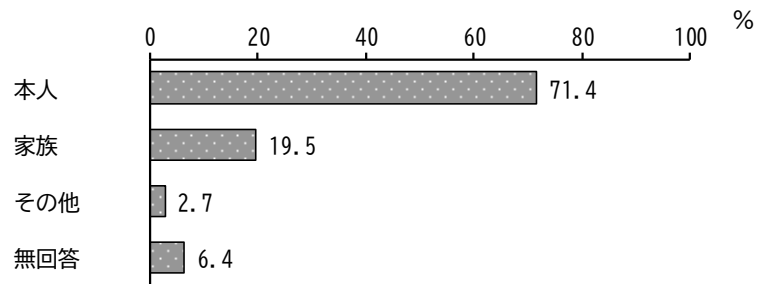
### 1 障害者

#### (1) 回答者

問1 この調査票はどなたが記入されますか。[1つに○]

「本人」の割合が71.4%、「家族」の割合が19.5%となっています。

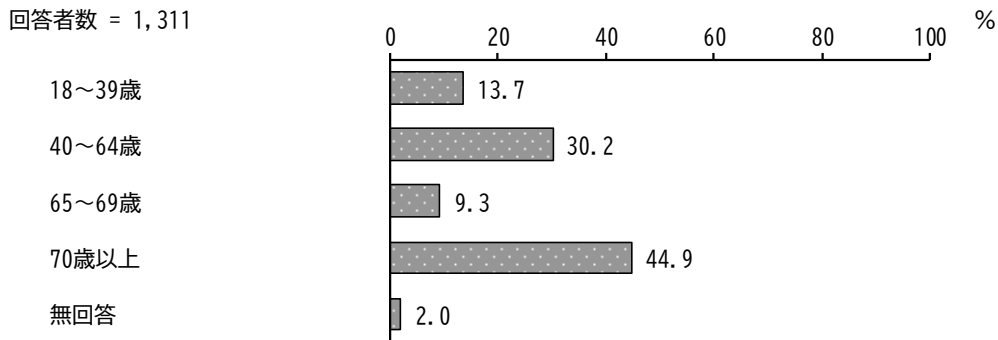
回答者数 = 1,311



## (2) 回答者属性

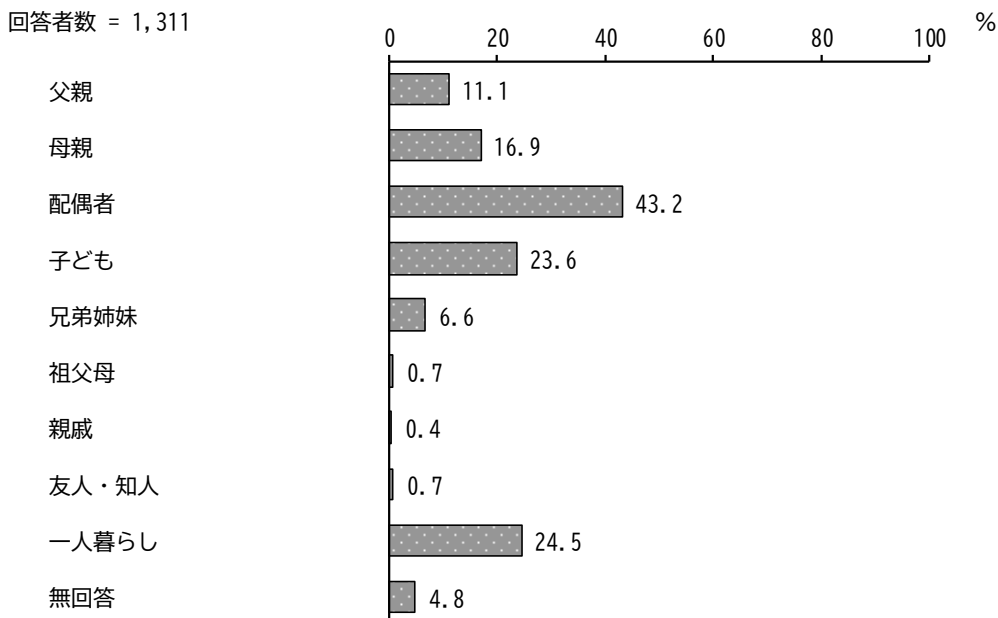
### 問2 年齢は次のうちどれですか。[1つに○]

「70歳以上」の割合が44.9%と最も多く、次いで「40～64歳」の割合が30.2%、「18～39歳」の割合が13.7%となっています。



### 問3 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

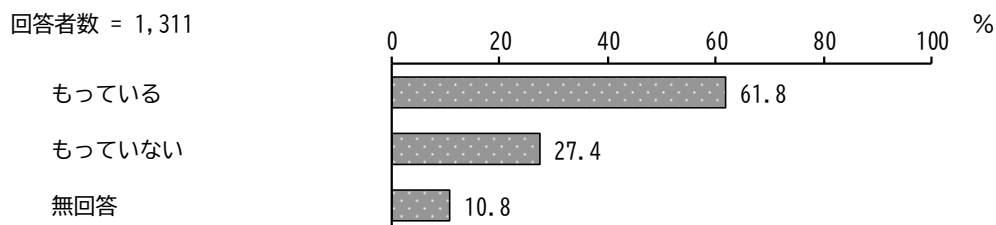
「配偶者」の割合が43.2%と最も多く、次いで「一人暮らし」の割合が24.5%、「子ども」の割合が23.6%となっています。



問4 次の手帳又は医療券をお持ちですか。

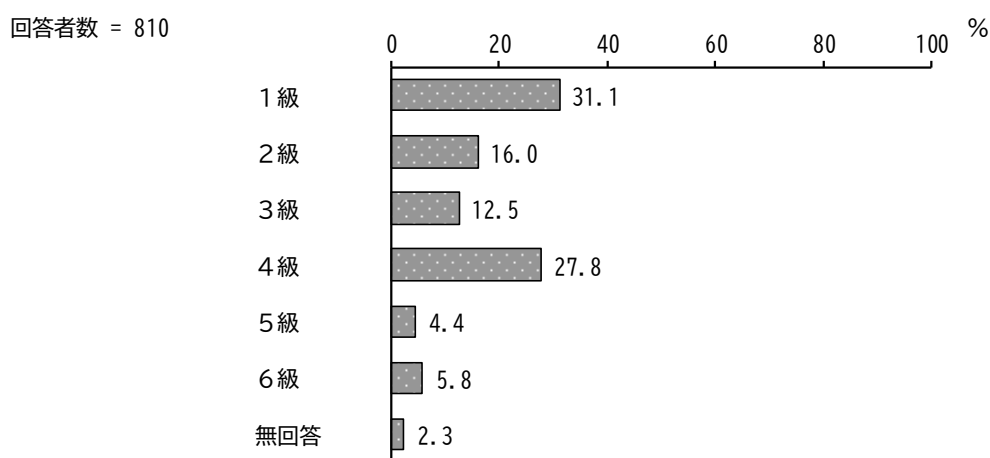
(1) 身体障害者手帳[1つに○]

「もっている」の割合が61.8%、「もっていない」の割合が27.4%となっています。



等級

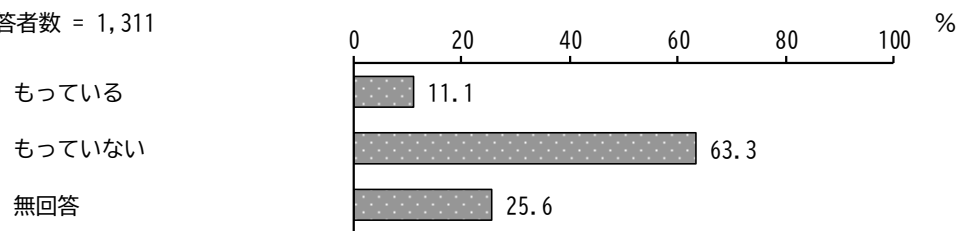
「1級」の割合が31.1%と最も多く、次いで「4級」の割合が27.8%、「2級」の割合が16.0%となっています。



(2)愛の手帳[1つに○]

「もっている」の割合が11.1%、「もっていない」の割合が63.3%となっています。

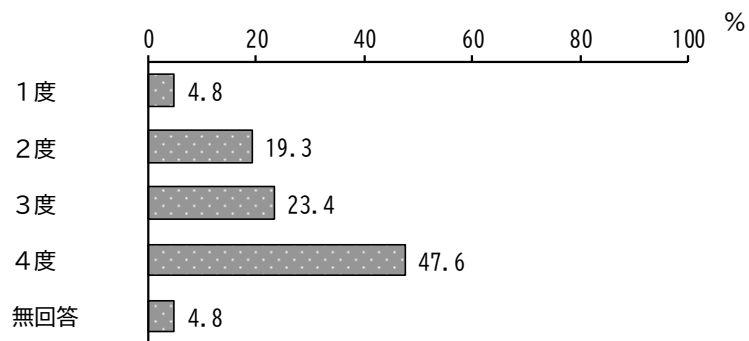
回答者数 = 1,311



等級

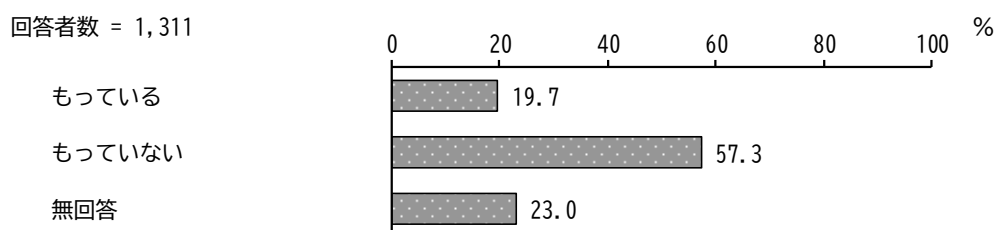
「4度」の割合が47.6%と最も多く、次いで「3度」の割合が23.4%、「2度」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 145



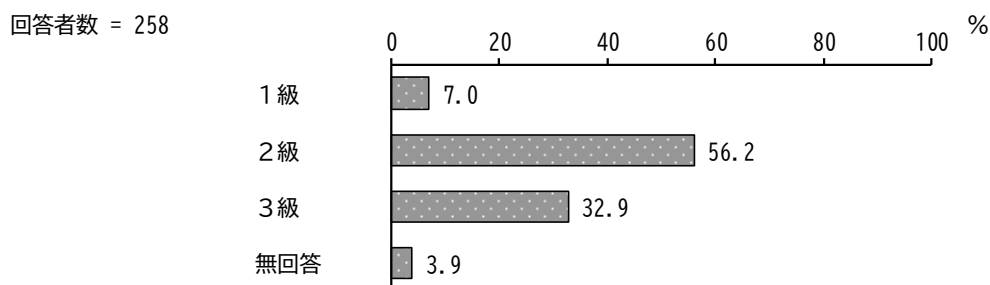
(3)精神障害者保健福祉手帳[1つに○]

「もっている」の割合が19.7%、「もっていない」の割合が57.3%となっています。



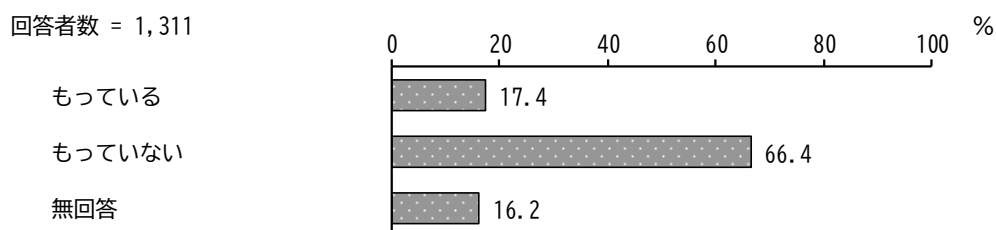
等級

「2級」の割合が56.2%と最も多く、次いで「3級」の割合が32.9%となっています。



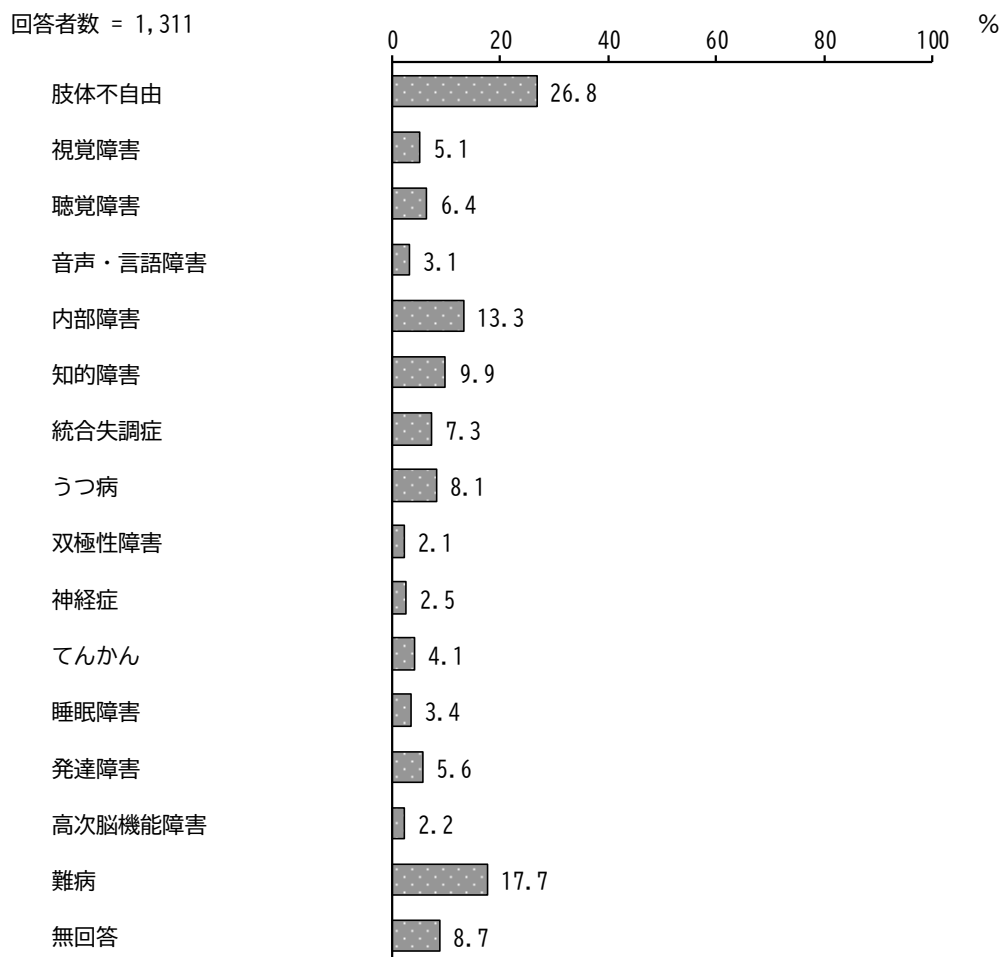
(4)難病及び人工透析にかかる医療券をお持ちですか。[1つに○]

「もっている」の割合が17.4%、「もっていない」の割合が66.4%となっています。



問5 障害の種類又は病名についておたずねします。[いくつでも○]

「肢体不自由」の割合が26.8%と最も多く、次いで「難病」の割合が17.7%、「内部障害」の割合が13.3%となっています。



【障害種別】

障害の種類については、身体障害者は「肢体不自由」(42.3%)、精神障害者は「うつ病」(37.2%)が最も多くなっています。

単位：%

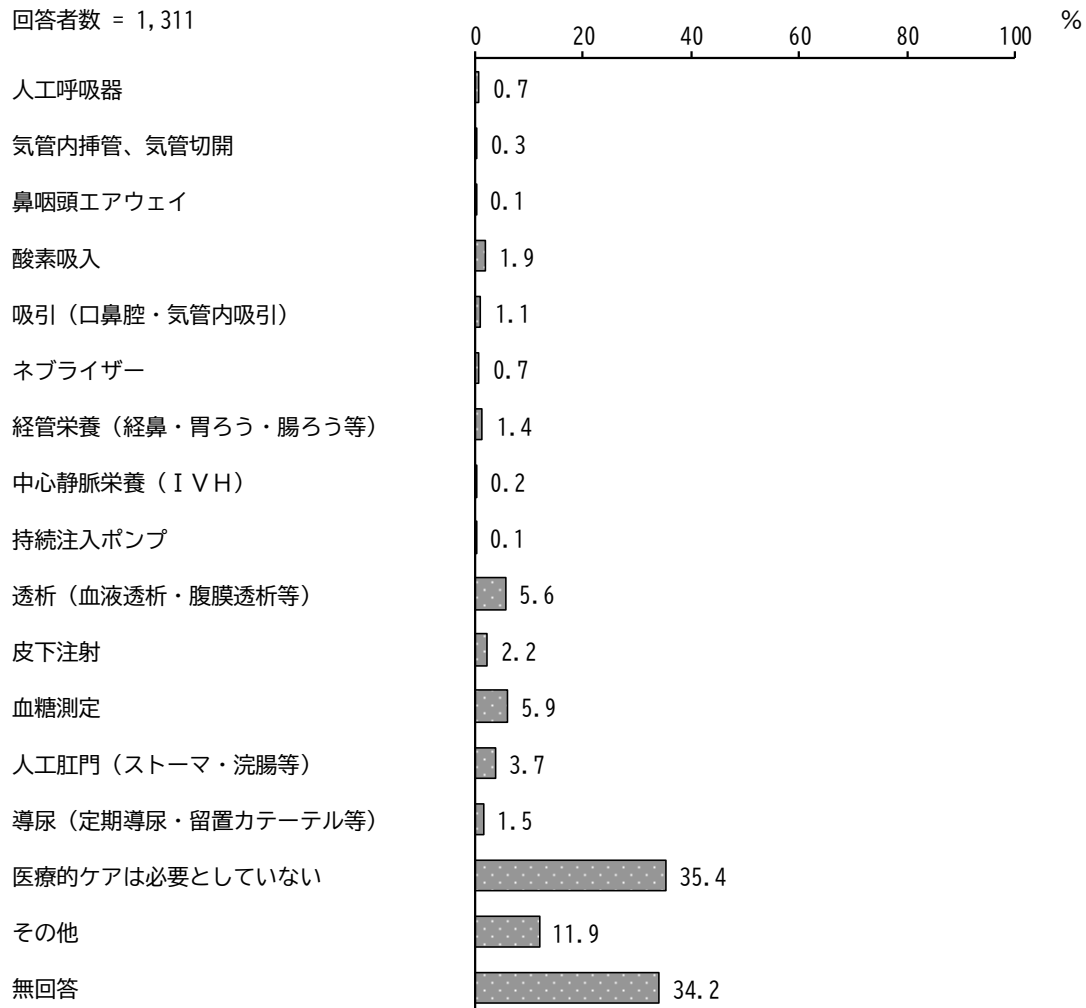
区分	回答者数(人)	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声・言語障害	内部障害	知的障害	統合失調症	うつ病
全体	1,311	26.8	5.1	6.4	3.1	13.3	9.9	7.3	8.1
身体障害者	810	42.3	7.7	10.1	4.0	21.1	3.3	1.4	2.5
知的障害者	145	10.3	1.4	1.4	3.4	1.4	83.4	1.4	5.5
精神障害者	258	2.3	1.9	1.2	1.6	1.9	5.4	33.3	37.2
難病患者	228	9.6	5.7	2.6	0.9	14.9	2.2	0.9	0.4

区分	双極性障害	神経症	てんかん	睡眠障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	無回答
全体	2.1	2.5	4.1	3.4	5.6	2.2	17.7	8.7
身体障害者	0.1	1.5	2.7	1.9	1.2	2.6	12.2	9.5
知的障害者	1.4	0.7	17.9	2.8	21.4	—	4.1	3.4
精神障害者	9.7	8.1	8.9	11.2	17.4	3.5	3.1	3.9
難病患者	—	1.3	—	0.4	0.4	1.3	69.3	6.6

問6 あなたは、次のような医療的ケアを必要としていますか。[いくつでも○]

「医療的ケアは必要としていない」の割合が 35.4%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311





【障害種別】

医療的ケアの必要性については、身体障害者、知的障害者、精神障害者は「医療的ケアは必要としていない」（順に 28.0%、50.3%、46.9%）、難病患者は「透析（血液透析・腹膜透析等）」（29.4）が最も多くなっています。

単位：%

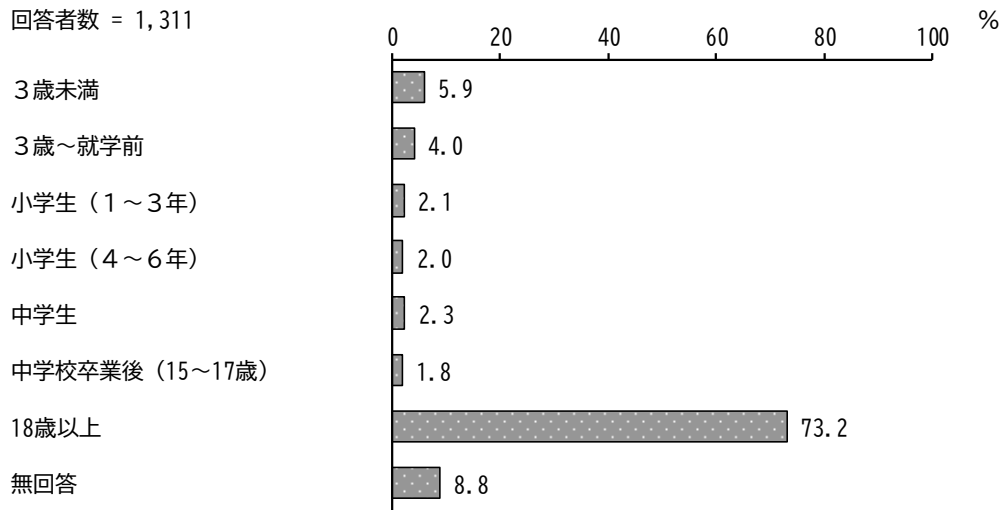
区分	回答者数（人）	人工呼吸器	気管内挿管、気管切開	鼻咽頭エアウェイ	酸素吸入	吸引（口鼻腔・気管内吸引）	ネプライザー	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう等）	H中心静脈栄養（I V）
全体	1,311	0.7	0.3	0.1	1.9	1.1	0.7	1.4	0.2
身体障害者	810	1.0	0.4	0.1	2.7	1.1	0.7	1.4	0.2
知的障害者	145	0.7	—	—	0.7	—	—	0.7	—
精神障害者	258	0.4	—	—	—	0.8	1.6	0.4	—
難病患者	228	0.9	0.9	—	2.2	3.1	0.9	3.1	0.9

区分	持続注入ポンプ	透析（血液透析・腹膜透析等）	皮下注射	血糖測定	人工肛門（ストーマ・洗腸等）	導尿（定期導尿・留置カテーテル等）	医療的ケアは必要としていない	その他	無回答
全体	0.1	5.6	2.2	5.9	3.7	1.5	35.4	11.9	34.2
身体障害者	—	9.0	2.2	6.3	5.9	2.1	28.0	13.2	34.0
知的障害者	—	2.1	1.4	2.8	0.7	0.7	50.3	9.0	34.5
精神障害者	—	0.8	0.8	6.6	—	—	46.9	11.2	33.7
難病患者	0.4	29.4	4.4	7.9	4.4	0.9	28.1	11.4	18.4

問7 最初に診断を受けたのは何歳の頃ですか。[1つに○]

「18歳以上」の割合が73.2%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311



【障害の種類又は病名別】

最初に診断を受けた年齢については、知的障害を除き、「18歳以上」が最も多くなっています。

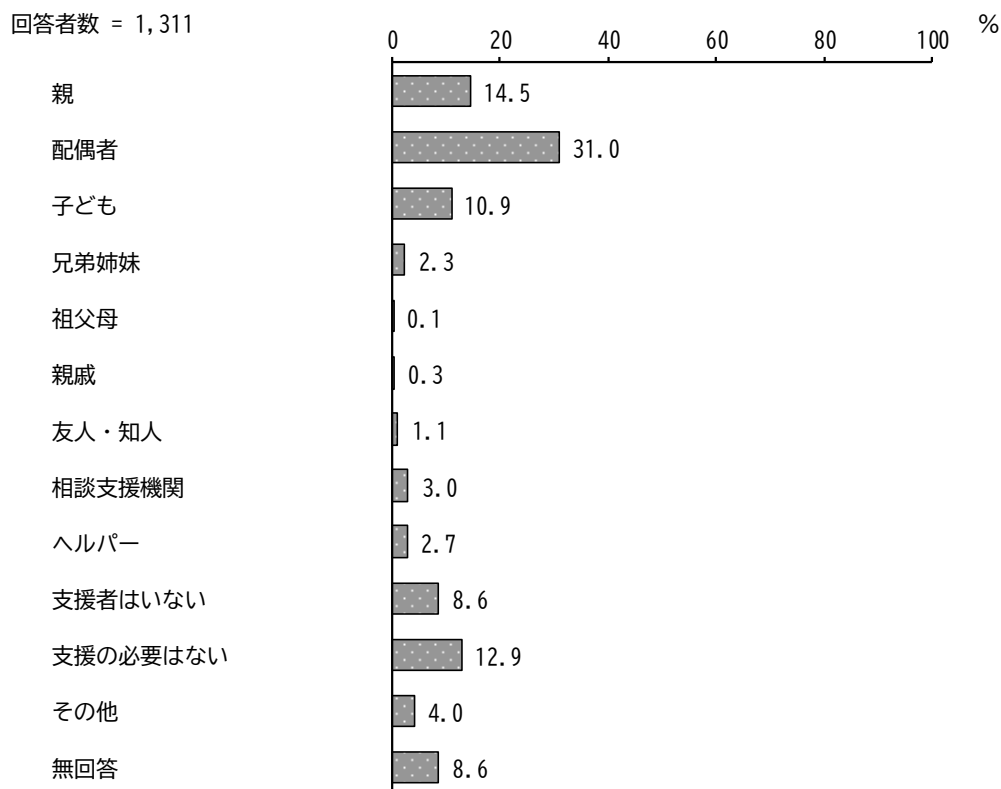
単位：％

区分	回答者数(人)	3歳未満	3歳～就学前	小学生(1～3年)	小学生(4～6年)	中学生	17歳) 中学校卒業後(15～	18歳以上	無回答
全体	1,311	5.9	4.0	2.1	2.0	2.3	1.8	73.2	8.8
肢体不自由	352	9.9	1.7	1.7	2.0	2.0	1.4	74.7	6.5
視覚障害	67	6.0	1.5	4.5	3.0	1.5	—	79.1	4.5
聴覚障害	84	14.3	2.4	4.8	4.8	1.2	1.2	59.5	11.9
音声・言語障害	40	7.5	2.5	—	—	—	—	80.0	10.0
内部障害	175	3.4	0.6	1.7	—	—	0.6	88.6	5.1
知的障害	130	21.5	26.2	6.9	4.6	7.7	5.4	18.5	9.2
統合失調症	96	2.1	1.0	2.1	1.0	7.3	1.0	85.4	—
うつ病	106	0.9	0.9	1.9	2.8	3.8	5.7	80.2	3.8
双極性障害	27	—	3.7	3.7	—	—	—	92.6	—
神経症	33	3.0	—	—	6.1	—	6.1	84.8	—
てんかん	54	22.2	16.7	5.6	13.0	3.7	—	33.3	5.6
睡眠障害	44	4.5	—	2.3	6.8	4.5	2.3	75.0	4.5
発達障害	73	12.3	16.4	2.7	9.6	6.8	4.1	45.2	2.7
高次脳機能障害	29	—	—	—	3.4	—	—	89.7	6.9
難病	232	1.7	0.9	0.9	0.4	0.4	0.4	89.7	5.6

### (3) 日常生活について

#### 問8 主な支援者は誰ですか。[1つに〇]

「配偶者」の割合が31.0%と最も多く、次いで「親」の割合が14.5%、「支援の必要はない」の割合が12.9%となっています。



#### 【障害種別】

主な支援者については、身体障害者、難病患者は「配偶者」（順に35.3%、39.5%）、知的障害者、精神障害者は「親」（順に50.3%、29.8%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	14.5	31.0	10.9	2.3	0.1	0.3	1.1	3.0	2.7	8.6	12.9	4.0	8.6
身体障害者	810	5.7	35.3	14.6	2.3	0.1	0.4	1.1	1.2	2.5	10.0	15.2	3.0	8.6
知的障害者	145	50.3	6.2	1.4	3.4	—	—	0.7	4.8	5.5	0.7	—	13.8	13.1
精神障害者	258	29.8	22.1	3.5	2.7	—	0.4	1.6	8.9	3.5	10.1	3.9	4.3	9.3
難病患者	228	6.1	39.5	11.8	1.8	—	—	0.4	0.4	3.5	7.9	16.7	2.2	9.6

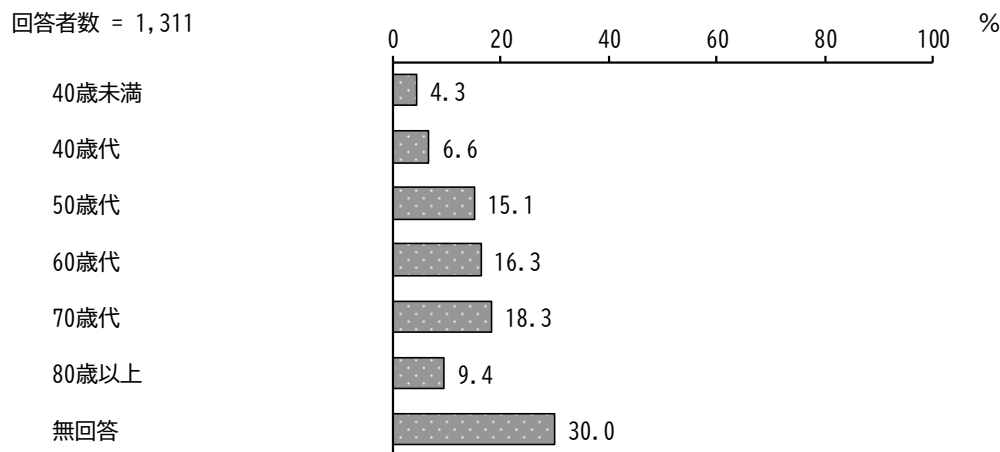
【障害の種類又は病名別】

単位：％

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	14.5	31.0	10.9	2.3	0.1	0.3	1.1	3.0	2.7	8.6	12.9	4.0	8.6
肢体不自由	352	6.5	35.2	12.8	3.1	—	0.3	0.9	0.9	2.0	9.1	15.6	2.8	10.8
視覚障害	67	7.5	43.3	13.4	1.5	—	—	—	1.5	9.0	9.0	7.5	3.0	4.5
聴覚障害	84	4.8	25.0	22.6	2.4	—	1.2	1.2	1.2	3.6	13.1	14.3	1.2	9.5
音声・言語障害	40	2.5	52.5	10.0	2.5	—	—	2.5	—	—	7.5	2.5	5.0	15.0
内部障害	175	2.3	42.3	14.3	1.1	—	0.6	1.7	0.6	—	10.3	17.7	2.3	6.9
知的障害	130	51.5	3.1	2.3	3.1	—	—	0.8	5.4	5.4	1.5	1.5	13.8	11.5
統合失調症	96	39.6	12.5	2.1	5.2	—	1.0	3.1	10.4	4.2	8.3	1.0	4.2	8.3
うつ病	106	30.2	17.9	4.7	0.9	—	—	2.8	6.6	4.7	13.2	1.9	3.8	13.2
双極性障害	27	22.2	33.3	—	3.7	—	—	3.7	7.4	—	11.1	—	3.7	14.8
神経症	33	15.2	30.3	6.1	—	—	—	—	9.1	—	24.2	3.0	—	12.1
てんかん	54	46.3	16.7	1.9	—	—	—	1.9	1.9	5.6	1.9	7.4	5.6	11.1
睡眠障害	44	25.0	22.7	11.4	—	—	—	—	4.5	4.5	15.9	2.3	2.3	11.4
発達障害	73	52.1	6.8	1.4	—	—	—	—	12.3	4.1	4.1	5.5	2.7	11.0
高次脳機能障害	29	10.3	44.8	13.8	—	—	—	—	6.9	—	3.4	6.9	—	13.8
難病	232	7.3	38.4	11.6	0.9	0.4	—	—	0.4	3.9	8.2	19.0	3.9	6.0

問9 支援者がいる場合、主な支援者の年齢はどれですか。[1つに○]

「70歳代」の割合が18.3%と最も多く、次いで「60歳代」の割合が16.3%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



【障害種別】

主な支援者の年齢については、身体障害者、難病患者は「70歳台」（順に20.4%、20.2%）、知的障害者、精神障害者は「50歳代」（順に23.4%、19.4%）が多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	1,311	4.3	6.6	15.1	16.3	18.3	9.4	30.0
身体障害者	810	3.2	5.2	12.3	14.9	20.4	10.0	34.0
知的障害者	145	7.6	13.8	23.4	22.8	11.0	6.2	15.2
精神障害者	258	8.9	8.5	19.4	15.1	15.9	8.1	24.0
難病患者	228	1.3	5.3	15.4	17.1	20.2	8.8	32.0

【年齢別】

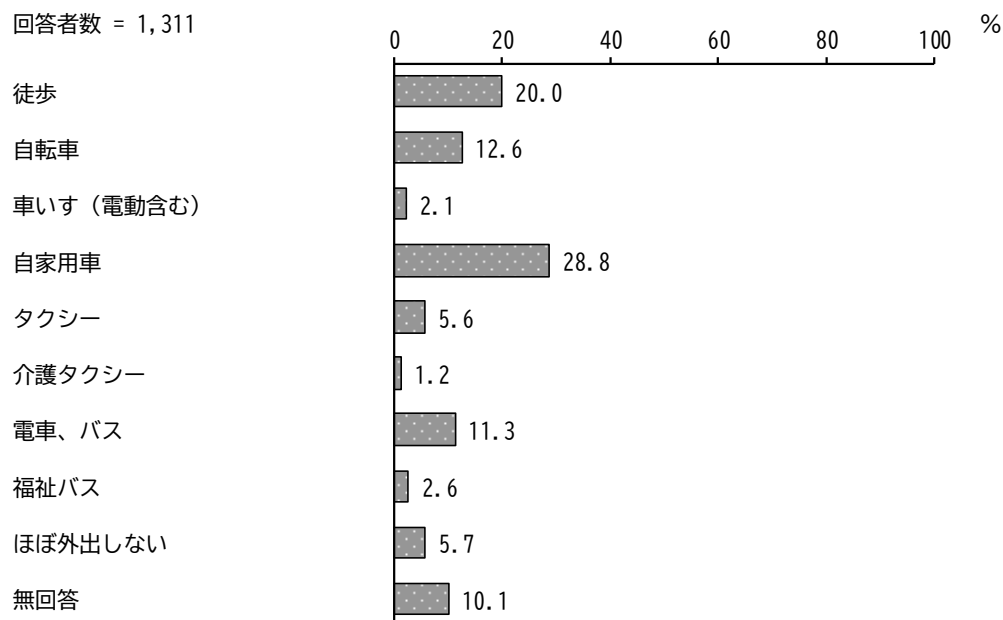
主な支援者の年齢について、障害者年齢別にみると、18～39歳、65～69歳は「60歳代」（順に、30.2%、36.1%）、40～64歳は「50歳代」（16.4%）、70歳以上で「70歳代」（27.4%）が最も多くなっています。

単位：%

障害者年齢 \ 支援者年齢	回答者数（人）	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	1,311	4.3	6.6	15.1	16.3	18.3	9.4	30.0
18～39歳	179	11.2	8.4	23.5	30.2	7.8	—	19.0
40～64歳	396	5.8	10.6	16.4	10.4	11.6	9.8	35.4
65～69歳	122	3.3	2.5	11.5	36.1	12.3	0.8	33.6
70歳以上	588	1.4	4.3	12.4	11.6	27.4	13.8	29.3

問 10 外出する際の最も多い手段は何ですか。[1つに〇]

「自家用車」の割合が 28.8%と最も多く、次いで「徒歩」の割合が 20.0%、「自転車」の割合が 12.6%となっています。



【障害種別】

外出の手段については、身体障害者、難病患者は「自家用車」(順に 33.6%、36.4%) 知的障害者、精神障害者は「徒歩」(順に 23.4%、26.7%) が最も多くなっています。

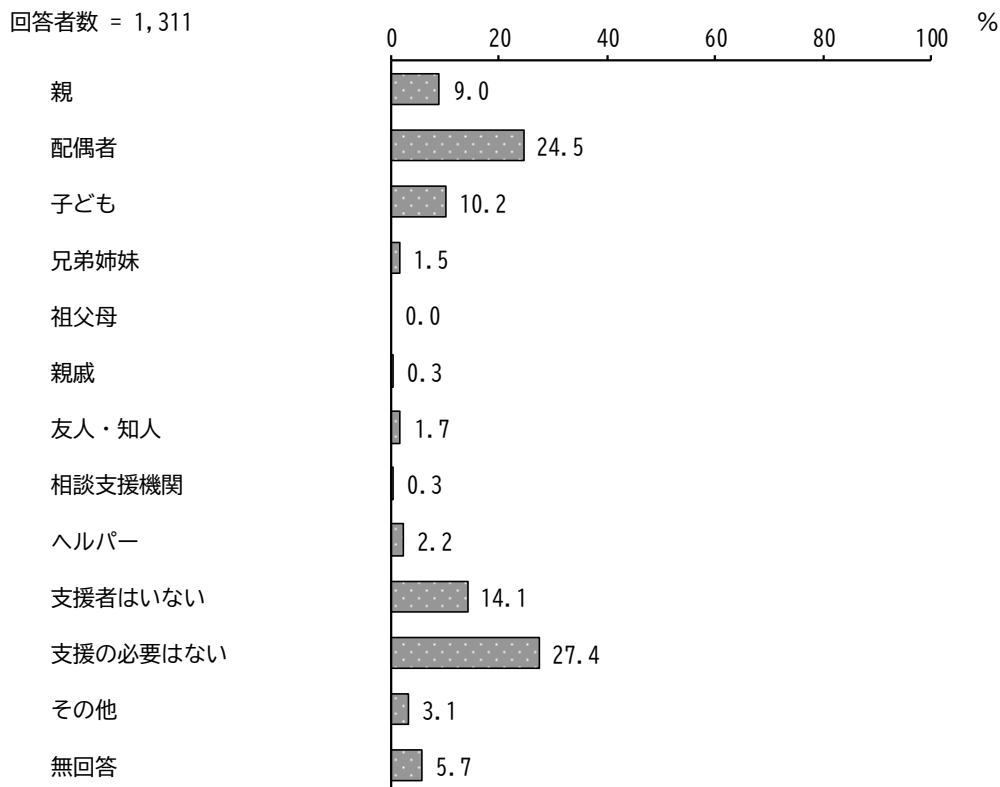
単位：%

区分	回答者数 (人)	徒歩	自転車	車いす (電動含む)	自家用車	タクシー	介護タクシー	電車、バス	福祉バス	ほぼ外出しない	無回答
全体	1,311	20.0	12.6	2.1	28.8	5.6	1.2	11.3	2.6	5.7	10.1
身体障害者	810	17.0	9.6	2.7	33.6	7.7	1.4	8.1	2.7	6.4	10.7
知的障害者	145	23.4	14.5	1.4	21.4	1.4	1.4	22.1	2.8	—	11.7
精神障害者	258	26.7	21.7	0.8	14.3	1.6	0.8	15.1	2.3	6.6	10.1
難病患者	228	17.1	7.5	2.6	36.4	7.0	1.3	8.3	1.3	7.0	11.4



問11 外出するときの主な支援者は誰ですか。[1つに○]

「支援の必要はない」の割合が27.4%と最も多く、次いで「配偶者」の割合が24.5%、「支援者はいない」の割合が14.1%となっています。



【障害種別】

外出するときの主な支援者については、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に28.0%、29.8%)、知的障害者は「親」(40.0%)、精神障害者は「支援の必要はない」(28.7%)が最も多くなっています。

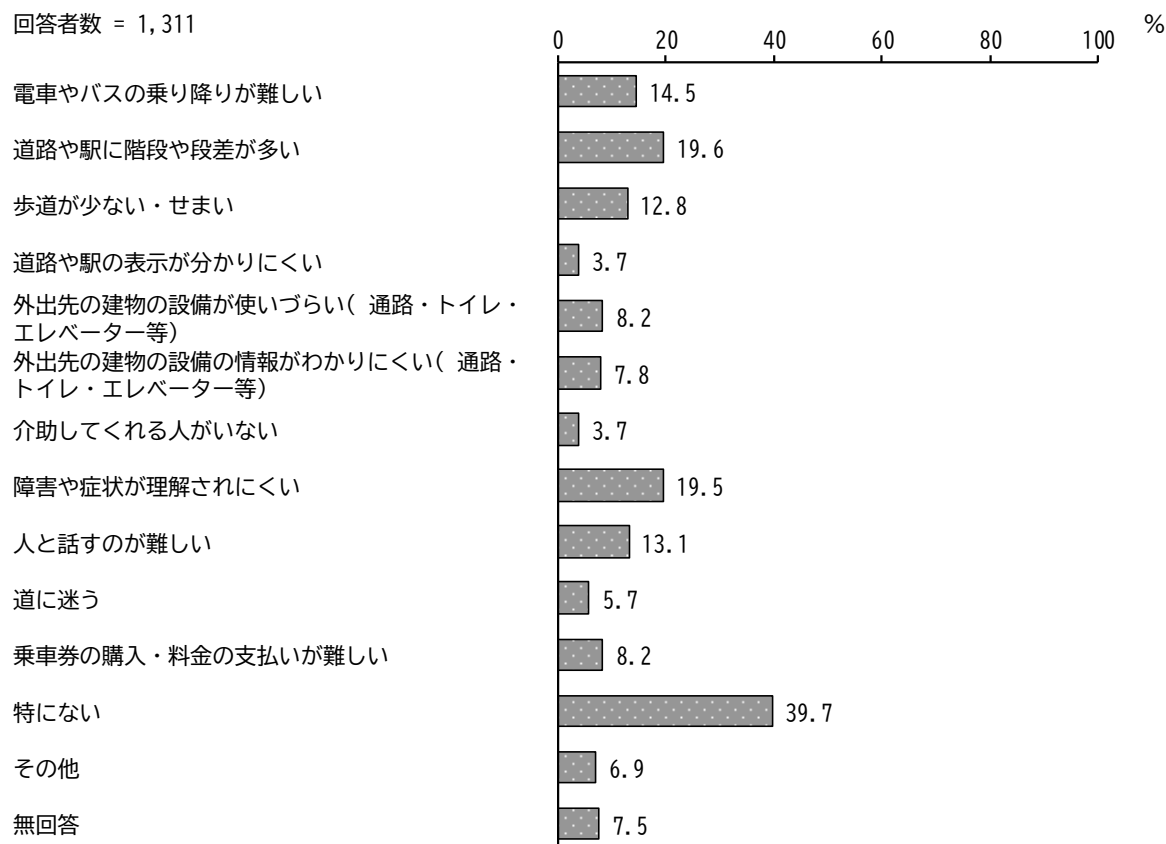
単位：%

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	9.0	24.5	10.2	1.5	—	0.3	1.7	0.3	2.2	14.1	27.4	3.1	5.7
身体障害者	810	4.3	28.0	13.5	1.4	—	0.5	1.7	0.1	2.3	13.0	25.8	2.8	6.5
知的障害者	145	40.0	5.5	1.4	2.8	—	—	0.7	1.4	6.2	4.1	23.4	8.3	6.2
精神障害者	258	15.9	18.6	1.6	1.9	—	—	3.5	0.4	0.8	22.1	28.7	2.3	4.3
難病患者	228	3.1	29.8	10.1	1.8	—	—	0.9	—	2.6	10.1	28.9	2.2	10.5

問 12 外出のときに、困ることはありますか(特に市内で) 。[いくつでも○]

「特にない」の割合が 39.7%と最も多く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が 19.6%、「障害や症状が理解されにくい」の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

外出のときに困ることについては、身体障害者、精神障害者、難病患者は「特にない」（順に38.8%、36.0%、40.8%）、知的障害者は「障害や症状が理解されにくい」（40.0%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	電車やバスの乗り降りが難しい	道路や駅に階段や段差が多い	歩道が少ない・せま	道路や駅の表示が分かりにくい	トイレ・エレベーター等）	外出先の建物の設備の情報がわかりにくい（通路・トイレ・エレベーター等）	外出先の建物の設備の情報がわかりにくい（通路・トイレ・エレベーター等）	介助してくれる人がいない
全体	1,311	14.5	19.6	12.8	3.7	8.2	7.8	3.7	
身体障害者	810	17.8	25.1	14.7	3.5	10.0	9.1	4.1	
知的障害者	145	15.9	11.7	10.3	9.0	5.5	11.0	3.4	
精神障害者	258	9.7	10.5	12.0	3.5	6.6	5.4	4.3	
難病患者	228	11.4	21.1	9.2	2.2	6.1	5.7	2.2	

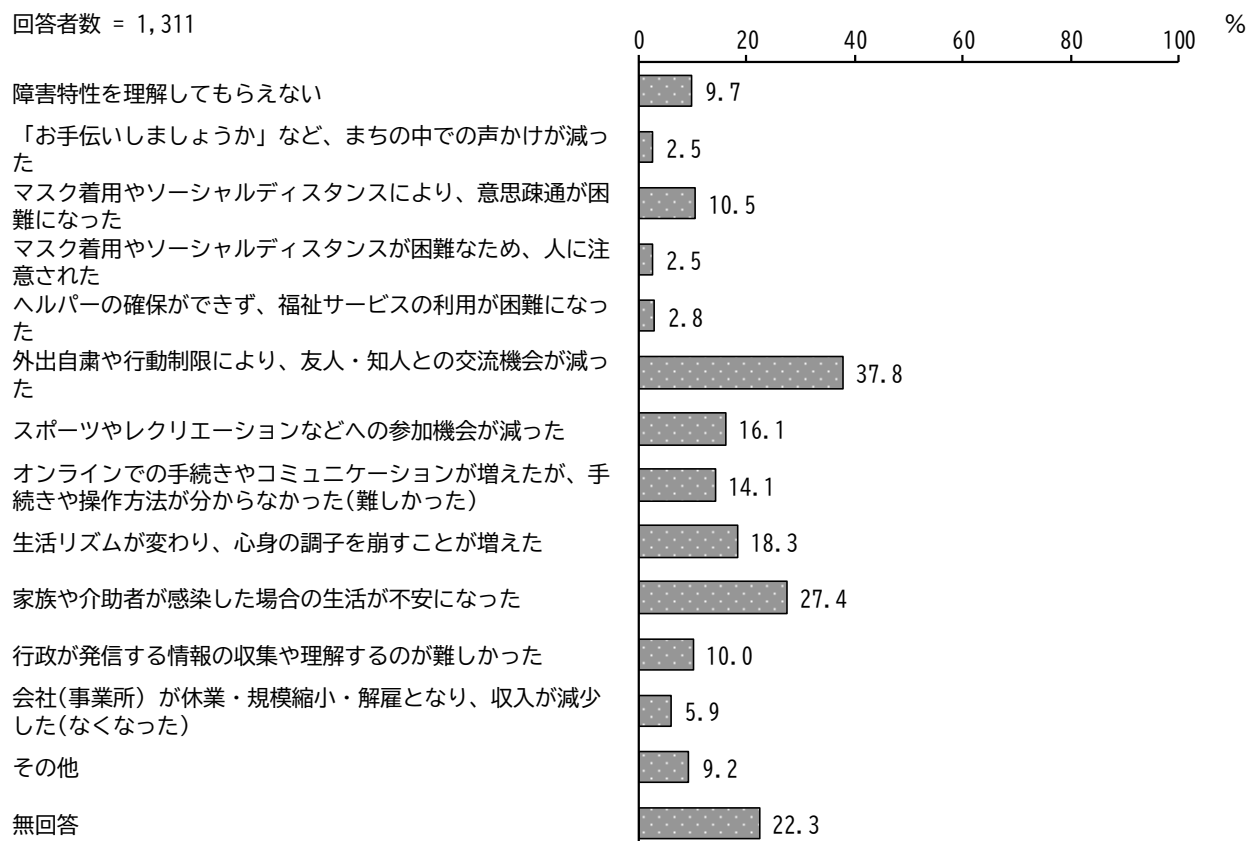
区分	障害や症状が理解されにくい	人と話すのが難しい	道に迷う	乗車券の購入・料金の支払いが難しい	特にない	その他	無回答
全体	19.5	13.1	5.7	8.2	39.7	6.9	7.5
身体障害者	15.1	8.9	3.2	7.4	38.8	7.3	7.8
知的障害者	40.0	30.3	15.9	20.0	30.3	4.8	6.2
精神障害者	34.5	24.8	13.6	8.5	36.0	9.7	5.4
難病患者	13.6	5.7	3.1	6.1	40.8	9.6	7.9

問 13 新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活で困ったことは何ですか。

[いくつでも○]

「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」の割合が 37.8%と最も多く、次いで「家族や介護者が感染した場合の生活が不安になった」の割合が 27.4%、「生活リズムが変わり、心身の調子を崩すことが増えた」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

新型コロナウイルス感染症の影響については、身体障害者、精神障害者、難病患者は「外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った」（順に40.9%、34.1%、37.7%）、知的障害者は「家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった」（34.5%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	障害特性を理解してもらえない	「お手伝いしましょうか」など、まちの中での声かけが減った	マスク着用やソーシャルディスタンスにより、意思疎通が困難になった	マスク着用やソーシャルディスタンスが困難なため、人に注意された	ヘルパーの確保ができず、福祉サービスの利用が困難になった	外出自粛や行動制限により、友人・知人との交流機会が減った	スポーツやレクリエーションなどへの参加機会が減った
全体	1,311	9.7	2.5	10.5	2.5	2.8	37.8	16.1
身体障害者	810	7.9	2.7	11.4	1.9	2.7	40.9	18.4
知的障害者	145	20.7	4.8	11.0	6.2	11.0	33.1	23.4
精神障害者	258	16.7	1.6	11.6	4.7	2.3	34.1	11.2
難病患者	228	7.5	2.2	9.2	1.8	1.3	37.7	16.7

区分	オンラインでの手続きやコミュニケーションが増えたが、手続きや操作方法が分からなかった（難しかった）	生活リズムが変わり、心身の調子を崩すことが増えた	家族や介助者が感染した場合の生活が不安になった	行政が発信する情報の収集や理解するのが難しかった	会社（事業所）が休業・規模縮小・解雇となり、収入が減少した（なくなった）	その他	無回答
全体	14.1	18.3	27.4	10.0	5.9	9.2	22.3
身体障害者	15.1	15.8	27.2	9.4	5.7	8.9	22.2
知的障害者	11.0	19.3	34.5	14.5	6.9	11.7	20.0
精神障害者	15.5	29.1	28.3	12.8	7.8	10.9	19.0
難病患者	12.3	16.2	29.8	7.0	6.1	8.8	21.1

## (4) 健康・医療について

問 14 あなたは、かかりつけ医はいますか。[1つに〇]

「かかりつけ医がいる」の割合が83.8%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311

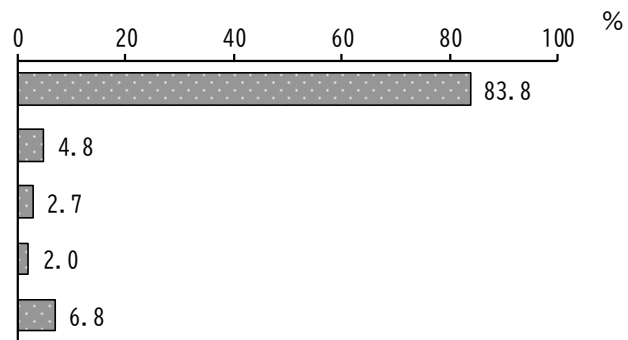
かかりつけ医がいる

かかりつけ医は不要

かかりつけ医を探しているが見つからない

その他

無回答



### 【障害種別】

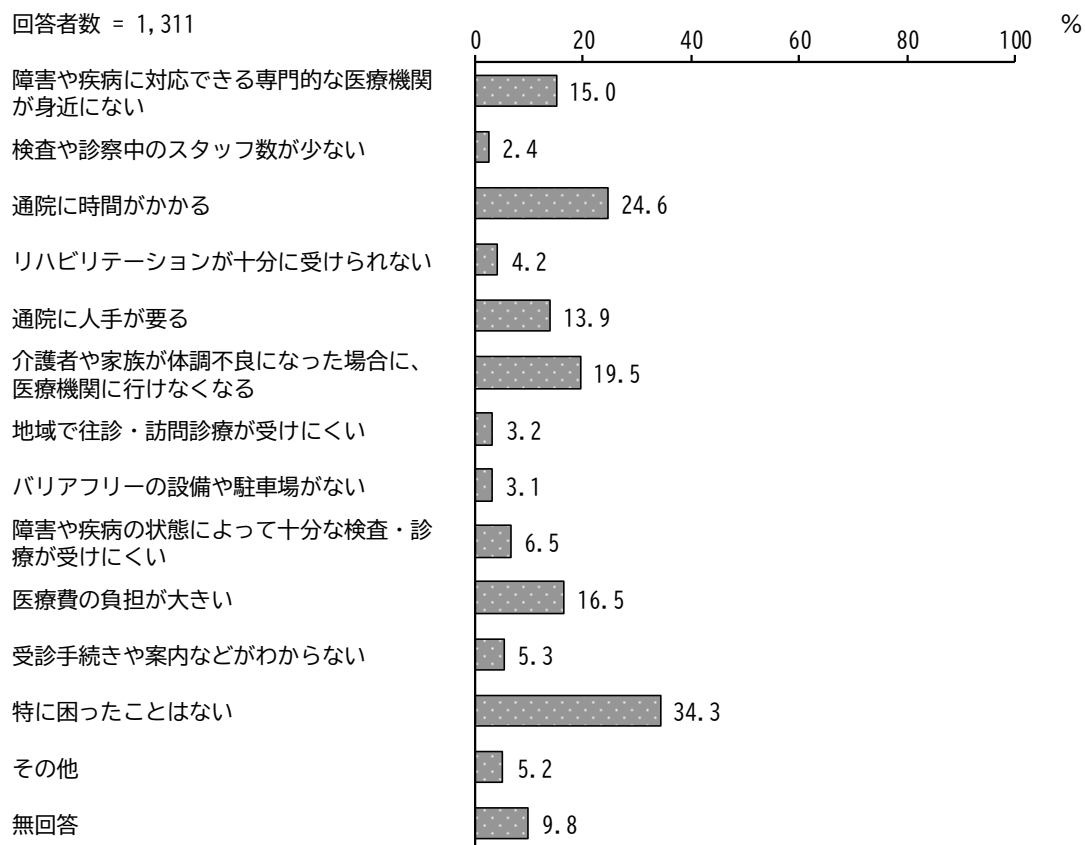
単位：%

区分	回答者数 (人)	かかりつけ医がいる	かかりつけ医は不要	かかりつけ医を探しているが見つからない	その他	無回答
全体	1,311	83.8	4.8	2.7	2.0	6.8
身体障害者	810	84.4	4.3	2.0	1.9	7.4
知的障害者	145	76.6	9.7	4.8	2.1	6.9
精神障害者	258	85.7	4.3	3.9	1.9	4.3
難病患者	228	89.5	—	1.8	3.5	5.3

問 15 あなたは、健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。  
[いくつかでも○]

「特に困ったことはない」の割合が 34.3%と最も多く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が 24.6%、「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

健康管理や医療で困ったことについては、身体障害者、難病患者は「特に困ったことはない」（順に 35.8%、32.0%）、知的障害者は「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」（30.3%）、精神障害者で「通院に時間がかかる」（38.4%）が最も多くなっています

単位：%

区分	回答者数（人）	障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない	検査や診察中のスタッフ数が少ない	通院に時間がかかる	リハビリテーションが十分に受けられない	通院に人手が要る	介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる	地域で往診・訪問診療が受けにくい
全体	1,311	15.0	2.4	24.6	4.2	13.9	19.5	3.2
身体障害者	810	13.3	1.6	18.8	4.8	14.6	20.7	2.8
知的障害者	145	17.2	4.8	27.6	2.8	26.9	30.3	3.4
精神障害者	258	18.2	5.0	38.4	3.1	8.5	16.3	5.0
難病患者	228	18.9	0.9	25.9	4.4	14.5	21.5	2.6

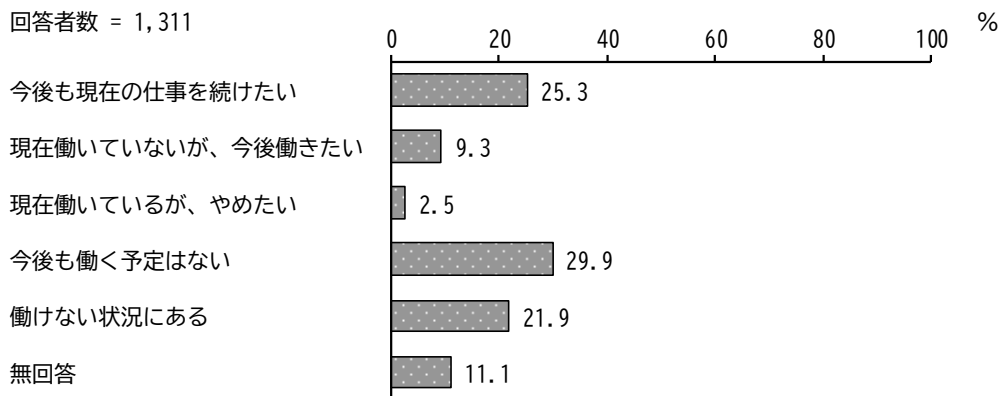
区分	バリアフリーの設備や駐車場がない	障害や疾病の状態によって十分な検査・診療が受けにくい	医療費の負担が大きい	受診手続きや案内などがわからない	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	3.1	6.5	16.5	5.3	34.3	5.2	9.8
身体障害者	4.0	6.2	15.7	4.1	35.8	5.1	10.7
知的障害者	2.1	15.9	11.7	16.6	29.0	3.4	9.0
精神障害者	1.9	7.4	17.8	7.0	29.5	7.4	6.2
難病患者	2.2	4.4	14.9	1.8	32.0	6.6	11.4



## (5) 就労について

### 問 16 現在の就労状況について教えてください。[1つに〇]

「今後も働く予定はない」の割合が 29.9%と最も多く、次いで「今後も現在の仕事を続けたい」の割合が 25.3%、「働けない状況にある」の割合が 21.9%となっています。



#### 【障害種別】

現在の就労状況については、身体障害者、難病患者は「今後も働く予定はない」(順に 36.9%、31.1%)、知的障害者で「今後も現在の仕事を続けたい」(51.0%)、精神障害者で「働けない状況にある」(32.2%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	今後も現在の仕事を続けたい	現在働いていないが、今後働きたい	現在働いているが、やめたい	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,311	25.3	9.3	2.5	29.9	21.9	11.1
身体障害者	810	19.9	6.5	2.1	36.9	21.2	13.3
知的障害者	145	51.0	9.7	2.8	11.0	17.2	8.3
精神障害者	258	24.4	21.7	4.7	11.2	32.2	5.8
難病患者	228	29.4	4.4	2.6	31.1	22.8	9.6

【年齢別】

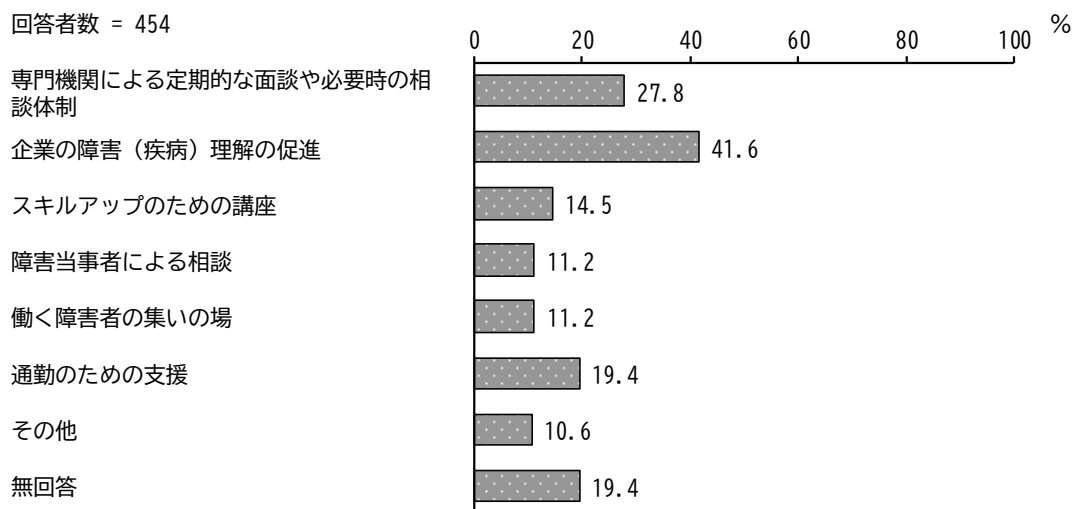
年齢別にみると、18～39歳、40～64歳で「今後も現在の仕事を続けたい」(順に41.3%、44.4%)、65～69歳、70歳以上で「今後も働く予定はない」(順に34.4%、50.5%)が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	今後も現在の仕事を続けたい	現在働いていないが、今後働きたい	現在働いているが、やめたい	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,311	25.3	9.3	2.5	29.9	21.9	11.1
18～39歳	179	41.3	25.7	4.5	4.5	17.9	6.1
40～64歳	396	44.4	13.9	3.3	9.6	22.5	6.3
65～69歳	122	23.0	6.6	0.8	34.4	32.0	3.3
70歳以上	588	7.8	2.0	1.7	50.5	21.1	16.8

問17 問16で1又は2を選択した方は就労継続のために必要と思う支援は何ですか。  
[いくつでも○]

「企業の障害(疾病)理解の促進」の割合が41.6%と最も多く、次いで「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」の割合が27.8%、「通勤のための支援」の割合が19.4%となっています。



### 【障害種別】

就労継続のための必要な支援について、身体障害者、精神障害者、難病患者は「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に 36.4%、53.8%、53.2%）、知的障害者は「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」（40.9%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	454	27.8	41.6	14.5	11.2	11.2	19.4	10.6	19.4
身体障害者	214	15.9	36.4	11.7	8.4	8.9	17.8	13.1	26.6
知的障害者	88	40.9	36.4	11.4	20.5	15.9	22.7	5.7	15.9
精神障害者	119	48.7	53.8	28.6	14.3	18.5	16.8	9.2	10.9
難病患者	77	13.0	53.2	9.1	5.2	5.2	18.2	10.4	14.3

### 【年齢別】

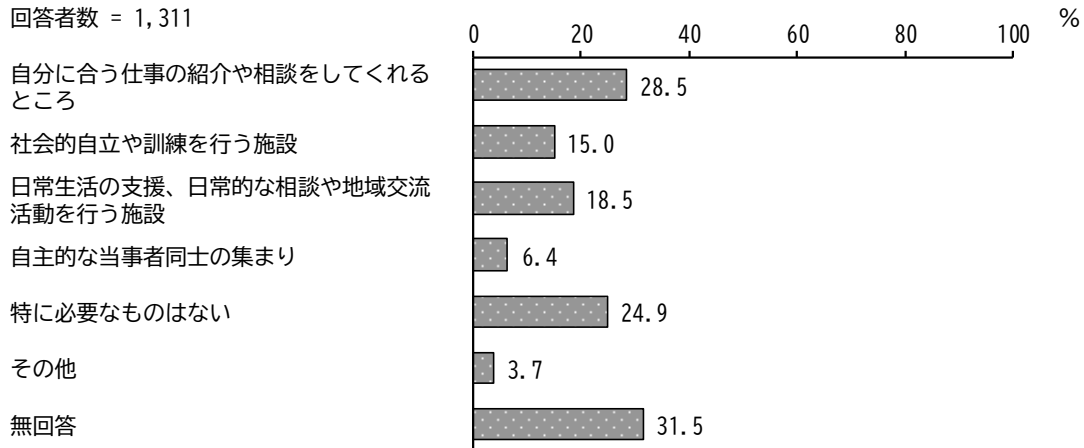
年齢別にみると、18～39歳、40～64歳、65～69歳は「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に 51.7%、45.9%、30.6%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	454	27.8	41.6	14.5	11.2	11.2	19.4	10.6	19.4
18～39歳	120	43.3	51.7	25.0	15.8	10.8	24.2	10.8	10.0
40～64歳	231	25.5	45.9	14.3	10.4	13.9	18.6	9.5	16.5
65～69歳	36	22.2	30.6	5.6	8.3	2.8	19.4	13.9	19.4
70歳以上	58	10.3	10.3	1.7	3.4	5.2	12.1	13.8	50.0

問 18 働く場や活動の場を充実させるため、必要と思うものは何ですか。[3つ以内に○]

「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」の割合が 28.5%と最も多く、次いで「特に必要なものはない」の割合が 24.9%、「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設」の割合が 18.5%となっています。



【障害種別】

働く場や活動の場を充実させるため必要と思うものについては、知的障害者、精神障害者は「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」（順に 41.4%、50.0%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ	社会的自立や訓練を行う施設	日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設	自主的な当事者同士の集まり	特に必要なものはない	その他	無回答
全体	1,311	28.5	15.0	18.5	6.4	24.9	3.7	31.5
身体障害者	810	21.2	9.6	14.4	5.1	26.2	3.2	39.4
知的障害者	145	41.4	26.9	31.7	9.0	13.8	4.1	18.6
精神障害者	258	50.0	29.5	29.1	9.7	15.5	5.4	16.7
難病患者	228	24.1	10.1	14.9	5.7	29.8	3.9	30.3

【年齢別】

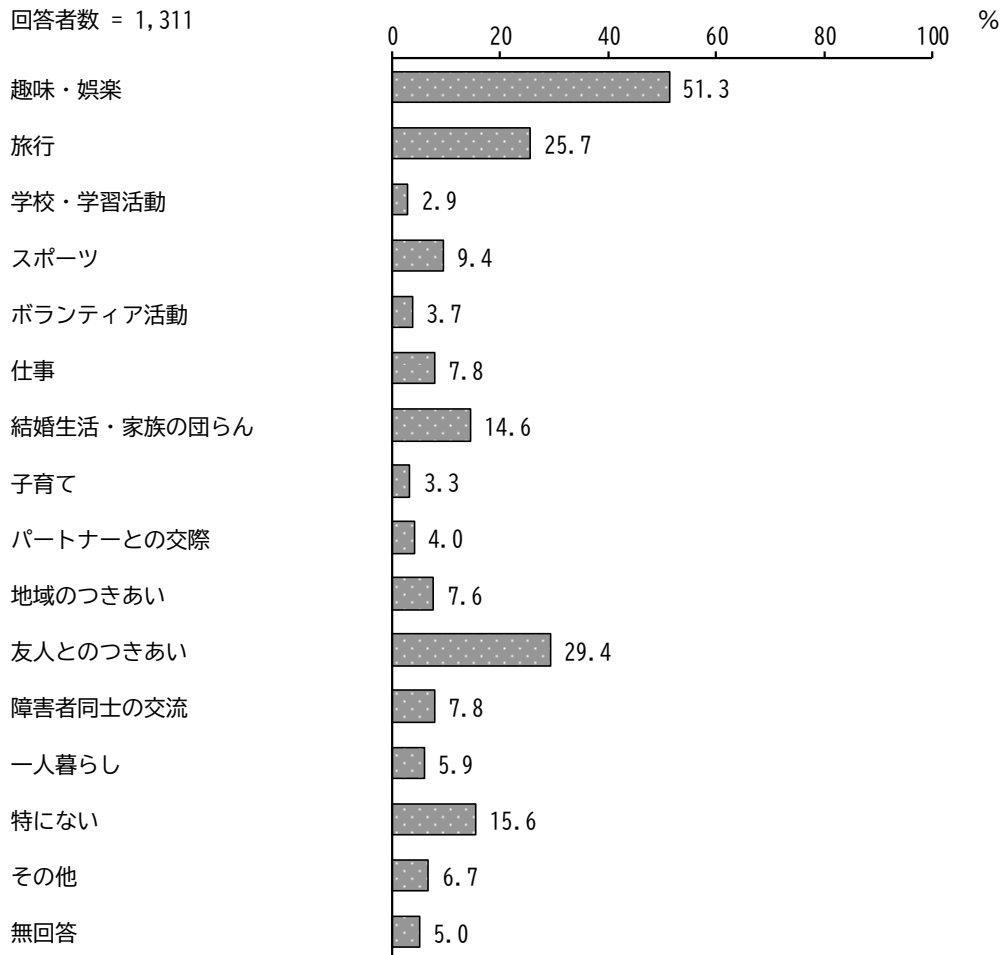
単位：%

区分	回答者数（人）	自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ	社会的自立や訓練を行う施設	設 常的な相談や地域交流活動を行う施設	日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設	自主的な当事者同士の集まり	特に必要なものはない	その他	無回答
全体	1,311	28.5	15.0	18.5	6.4	24.9	3.7	31.5	
18～39歳	179	54.7	34.6	25.7	7.8	12.8	4.5	12.3	
40～64歳	396	44.7	21.7	26.0	8.3	22.7	4.3	16.2	
65～69歳	122	27.0	13.1	13.9	3.3	38.5	5.7	21.3	
70歳以上	588	10.0	5.1	11.2	4.9	26.9	2.9	50.2	

## (6) 日頃の活動について

### 問 19 楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

「趣味・娯楽」の割合が 51.3%と最も多く、次いで「友人とのつきあい」の割合が 29.4%、「旅行」の割合が 25.7%となっています。



【障害種別】

楽しみや生きがいについては、全ての障害で「趣味・娯楽」が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	らん	結婚生活・家族の団	子育て	際	パートナーとの交	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にな	その他	無回答
全体	1,311	51.3	25.7	2.9	9.4	3.7	7.8	14.6	3.3	4.0	7.6	29.4	7.8	5.9	15.6	6.7	5.0		
身体障害者	810	46.2	25.2	1.9	8.5	4.0	6.9	13.7	2.0	3.1	8.9	31.2	6.7	5.1	16.8	6.2	5.8		
知的障害者	145	62.8	36.6	4.1	9.0	2.8	10.3	6.9	2.1	7.6	4.8	19.3	22.8	6.9	10.3	6.9	4.8		
精神障害者	258	58.9	14.3	6.6	8.1	3.5	7.8	16.3	6.6	5.8	3.9	23.6	8.9	8.5	15.5	10.9	4.3		
難病患者	228	46.5	23.7	1.3	9.6	1.8	7.0	19.7	4.4	3.9	6.1	27.2	3.1	5.3	17.5	4.4	8.3		

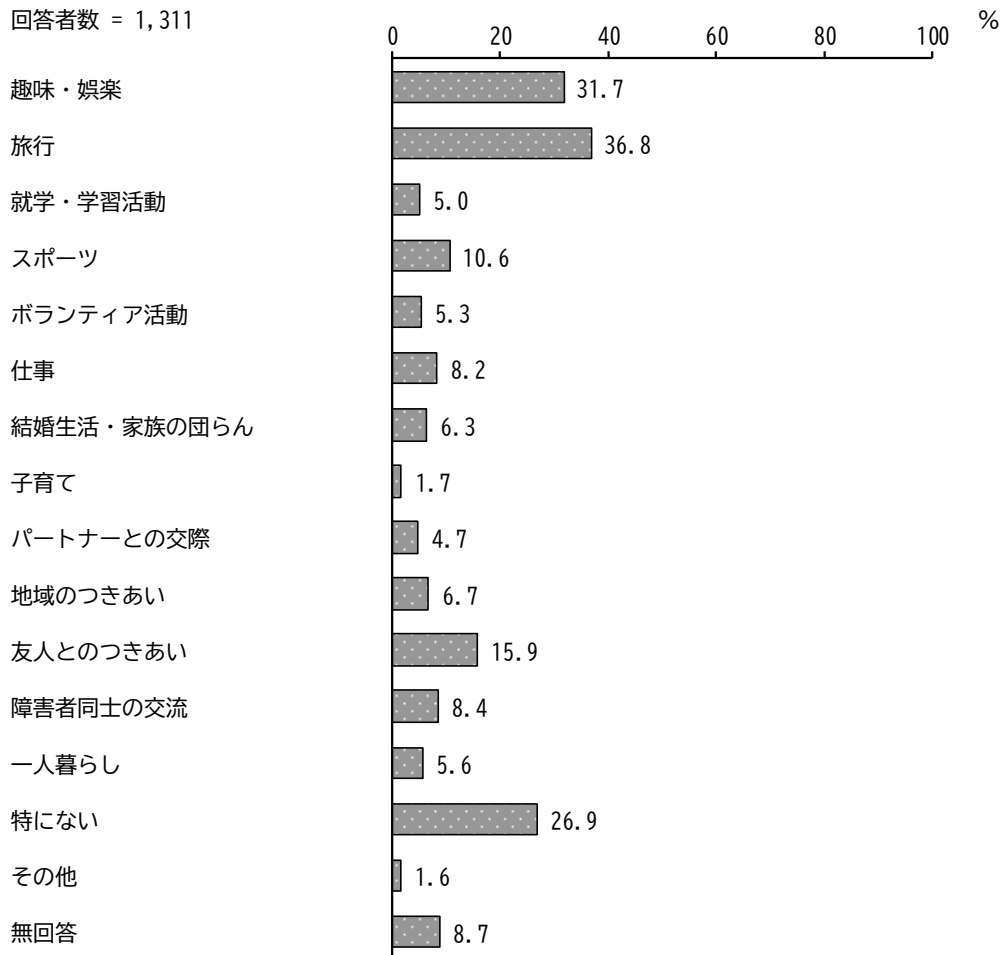
【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	らん	結婚生活・家族の団	子育て	際	パートナーとの交	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にな	その他	無回答
全体	1,311	51.3	25.7	2.9	9.4	3.7	7.8	14.6	3.3	4.0	7.6	29.4	7.8	5.9	15.6	6.7	5.0		
18～39歳	179	74.9	29.6	6.7	8.9	3.9	10.6	12.3	6.7	9.5	2.2	28.5	14.5	5.0	8.4	6.1	2.8		
40～64歳	396	55.6	27.0	4.3	12.6	3.5	12.1	21.2	7.3	5.8	6.3	25.5	10.4	6.3	14.4	5.8	3.0		
65～69歳	122	54.9	32.0	2.5	7.4	4.1	7.4	20.5	0.8	3.3	7.4	33.6	8.2	5.7	14.8	4.1	4.9		
70歳以上	588	39.6	21.8	1.0	7.5	3.7	4.1	9.7	0.2	1.2	9.9	31.0	3.6	5.8	19.2	8.2	7.1		

問 20 今後やってみたいことはありますか。[いくつでも○]

「旅行」の割合が 36.8%と最も多く、次いで「趣味・娯楽」の割合が 31.7%、「特にない」の割合が 26.9%となっています。





【障害種別】

今後やってみたいことについては、全ての障害で「旅行」が最も多くなっています。

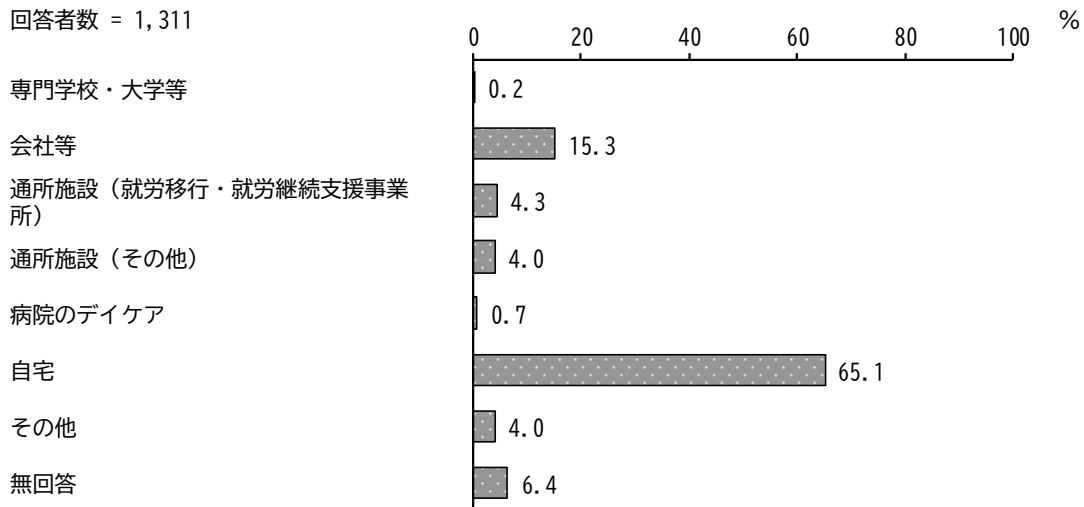
単位：％

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	就学・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	結婚生活・家族の団らん	子育て	パートナーとの交際	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にない	その他	無回答
全体	1,311	31.7	36.8	5.0	10.6	5.3	8.2	6.3	1.7	4.7	6.7	15.9	8.4	5.6	26.9	1.6	8.7
身体障害者	810	27.7	33.1	2.8	9.0	4.3	6.4	4.0	0.4	2.6	6.7	14.4	6.9	3.6	30.7	1.7	10.5
知的障害者	145	40.0	42.1	2.8	15.2	3.4	10.3	5.5	—	7.6	6.2	13.8	17.2	15.9	14.5	2.1	9.0
精神障害者	258	37.6	42.2	13.6	12.8	9.7	17.1	13.2	7.0	12.8	7.0	20.5	12.4	8.1	19.4	1.9	5.0
難病患者	228	27.2	34.6	3.1	11.0	3.9	3.1	5.3	0.4	3.1	5.3	11.8	6.1	0.9	33.3	0.9	9.2

問 21 日中は主にどこで過ごしていますか。[1つに○]

「自宅」の割合が 65.1%と最も多く、次いで「会社等」の割合が 15.3%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

日中は主にどこで過ごしているかについては、全ての障害で「自宅」が最も多くなっています。

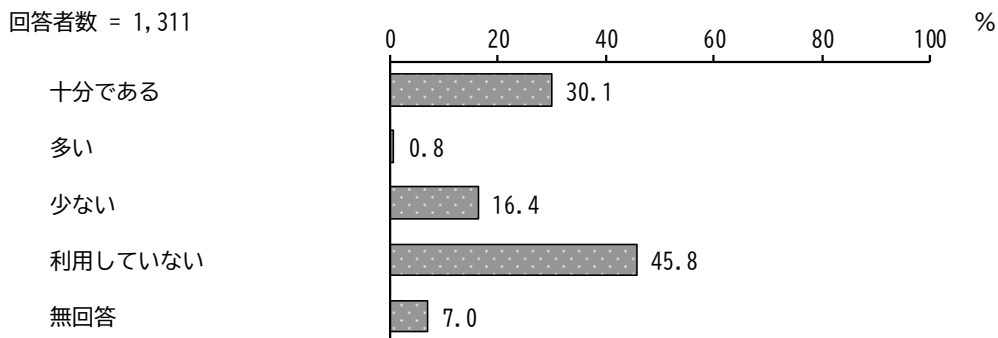
単位：%

区分	回答者数 (人)	専門学校・大学等	会社等	通所施設 (就労移行・就労継続支援事業所)	通所施設 (その他)	病院のデイケア	自宅	その他	無回答
全体	1,311	0.2	15.3	4.3	4.0	0.7	65.1	4.0	6.4
身体障害者	810	—	11.6	1.2	2.6	0.9	72.5	4.2	7.0
知的障害者	145	1.4	22.8	19.3	19.3	—	24.8	4.8	7.6
精神障害者	258	0.8	17.1	8.5	0.8	0.4	62.0	5.0	5.4
難病患者	228	—	21.1	1.3	3.9	1.3	62.3	2.2	7.9

## (7) 福祉サービスについて

問 22 現在、利用しているサービス量は十分だと思いますか。[1つに○]

「利用していない」の割合が45.8%と最も多く、次いで「十分である」の割合が30.1%、「少ない」の割合が16.4%となっています。



### 【障害種別】

現在利用しているサービス量について、身体障害者、精神障害者、難病患者は「利用していない」(順に48.5%、38.8%、43.9%)、知的障害者は「十分である」(44.1%)が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,311	30.1	0.8	16.4	45.8	7.0
身体障害者	810	27.2	0.9	14.6	48.5	8.9
知的障害者	145	44.1	0.7	21.4	27.6	6.2
精神障害者	258	36.4	1.2	20.9	38.8	2.7
難病患者	228	27.6	1.3	15.8	43.9	11.4

【障害の種類又は病名別】

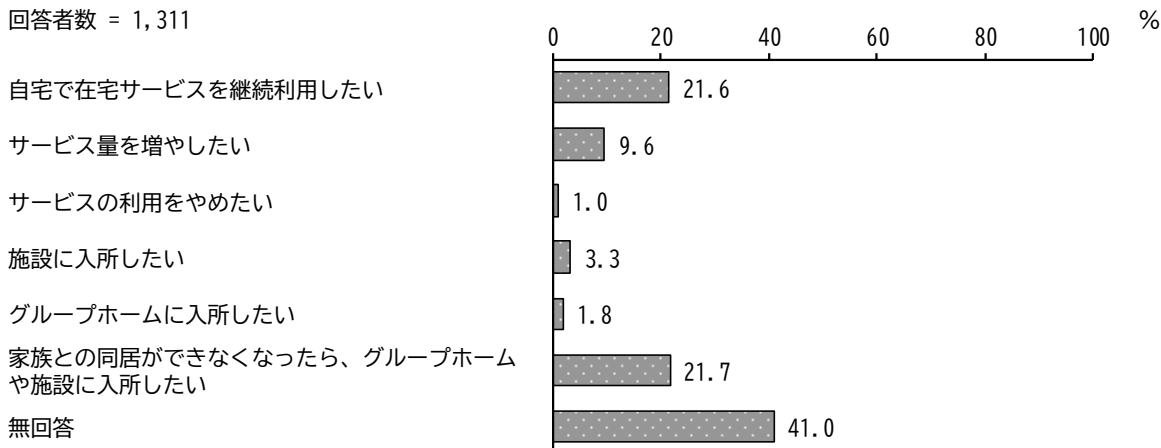
単位：％

区分	回答者数 (人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,311	30.1	0.8	16.4	45.8	7.0
肢体不自由	352	25.3	1.1	13.4	52.8	7.4
視覚障害	67	35.8	—	14.9	37.3	11.9
聴覚障害	84	34.5	—	10.7	44.0	10.7
音声・言語障害	40	25.0	—	20.0	40.0	15.0
内部障害	175	25.1	0.6	15.4	50.9	8.0
知的障害	130	46.2	0.8	20.8	29.2	3.1
統合失調症	96	45.8	1.0	17.7	34.4	1.0
うつ病	106	34.0	1.9	27.4	35.8	0.9
双極性障害	27	25.9	—	25.9	48.1	—
神経症	33	30.3	—	33.3	33.3	3.0
てんかん	54	42.6	—	31.5	22.2	3.7
睡眠障害	44	27.3	2.3	38.6	29.5	2.3
発達障害	73	42.5	2.7	20.5	32.9	1.4
高次脳機能障害	29	27.6	—	31.0	24.1	17.2
難病	232	27.6	0.9	14.2	44.8	12.5

問 23 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]

「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」の割合が 21.7%と最も多く、次いで「自宅で在宅サービスを継続利用したい」の割合が 21.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

今後のサービス利用について、身体障害者、知的障害者は「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」（順に 22.6%、23.4%）、精神障害者、難病患者は「自宅で在宅サービスを継続利用したい」（24.0%、27.2%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (人)	自宅で在宅サービスを継続利用したい	サービス量を増やしたい	サービスの利用をやめたい	施設に入所したい	グループホームに入所したい	家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい	無回答
全体	1,311	21.6	9.6	1.0	3.3	1.8	21.7	41.0
身体障害者	810	21.4	7.8	0.7	3.3	1.5	22.6	42.7
知的障害者	145	13.1	15.9	0.7	6.9	6.9	23.4	33.1
精神障害者	258	24.0	14.3	3.1	3.1	1.9	15.5	38.0
難病患者	228	27.2	7.5	—	3.9	2.2	19.3	39.9

問 24 障害又は難病が原因で人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。[いくつでも○]

「特にない」の割合が 67.2%と最も多くなっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

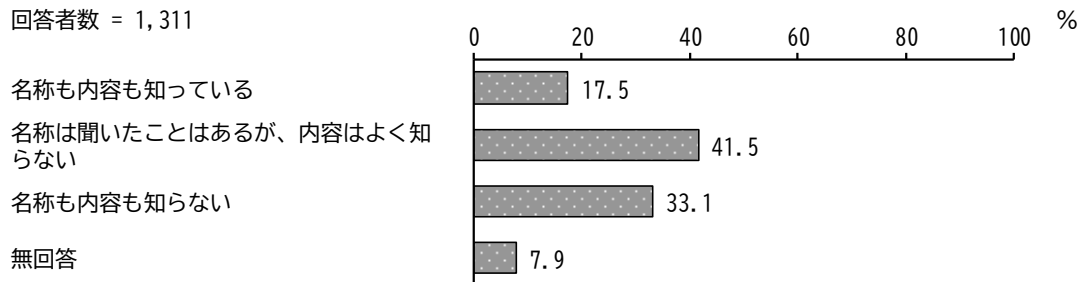
単位：%

区分	回答者数（人）	希望した学校に入学できなかった	希望した仕事に就職できなかった	職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である	障害を理由に退職を迫られた	差別用語が使われた	電車や施設の利用を断られた	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった	暴言・暴力による虐待を受けた
全体	1,311	2.0	6.6	4.9	4.5	8.0	1.2	1.5	6.9
身体障害者	810	2.0	5.2	3.7	3.2	5.8	1.1	1.6	4.2
知的障害者	145	6.2	11.0	8.3	6.2	15.2	2.8	2.8	13.1
精神障害者	258	1.9	14.0	11.2	12.8	17.8	2.3	2.3	19.8
難病患者	228	0.4	3.5	3.5	3.9	2.2	—	0.4	1.3

区分	性的な嫌がらせを受けた	給料や年金が本人のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出された	賃貸物人への入居や移転の際、障害を理由に断られた	食堂やホテルなどで利用を断られた	受診や治療を断られた	特にない	その他	無回答
全体	1.7	1.1	1.8	0.5	3.4	67.2	4.4	9.8
身体障害者	1.0	0.7	1.7	0.7	2.8	70.2	3.3	11.7
知的障害者	4.1	1.4	—	—	7.6	47.6	9.7	12.4
精神障害者	4.7	2.7	5.0	0.4	5.0	50.0	7.8	7.4
難病患者	0.9	0.4	—	—	4.8	75.9	2.6	9.2

問 25 判断能力が十分でない方の権利を守る事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知でしたか。[1つに○]

「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」の割合が41.5%と最も多く、次いで「名称も内容も知らない」の割合が33.1%、「名称も内容も知っている」の割合が17.5%となっています。



【障害種別】

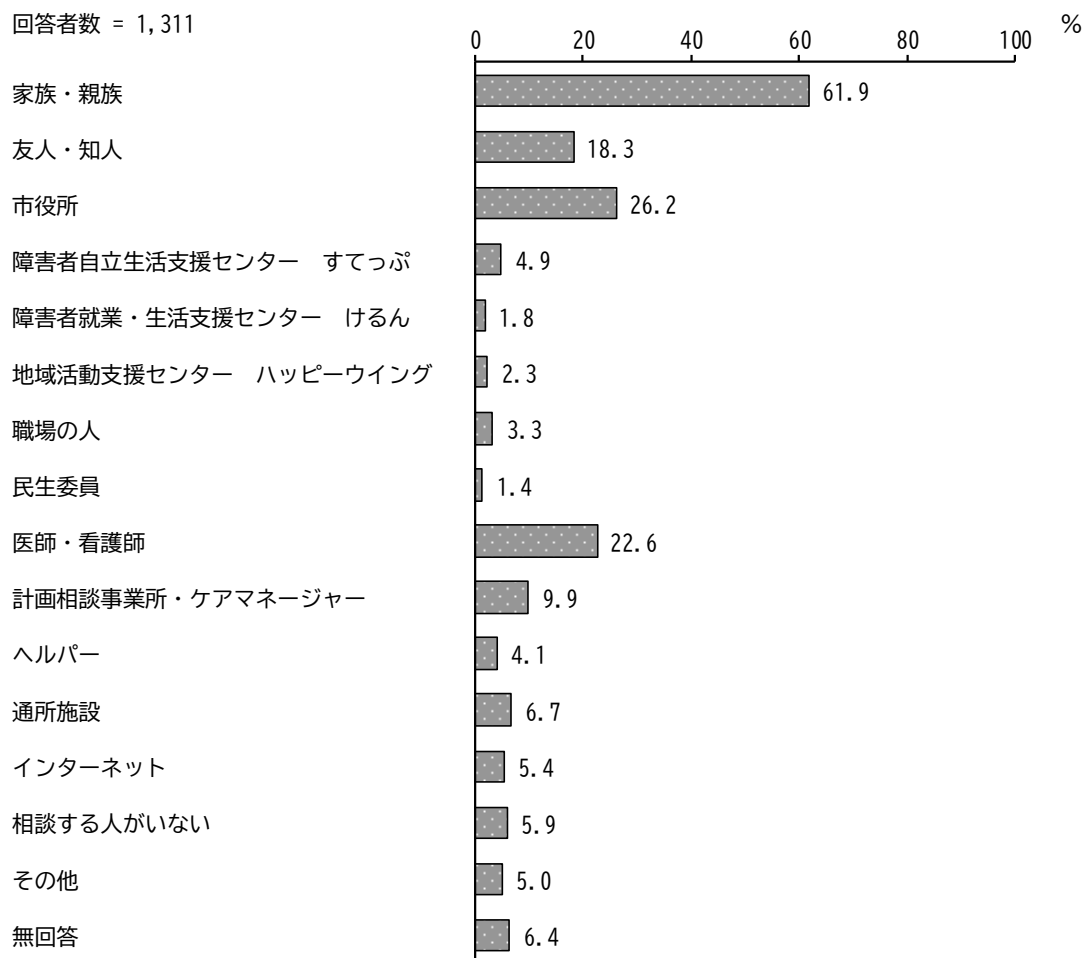
単位：%

区分	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない	名称も内容も知らない	無回答
全体	1,311	17.5	41.5	33.1	7.9
身体障害者	810	17.9	39.6	32.8	9.6
知的障害者	145	17.9	32.4	40.0	9.7
精神障害者	258	16.7	44.6	33.3	5.4
難病患者	228	15.8	49.6	28.5	6.1



問 26 あなたや支援者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのはだれ（どこ）ですか。[いくつでも○]

「家族・親族」の割合が 61.9%と最も多く、次いで「市役所」の割合が 26.2%、「医師・看護師」の割合が 22.6%となっています。



【障害種別】

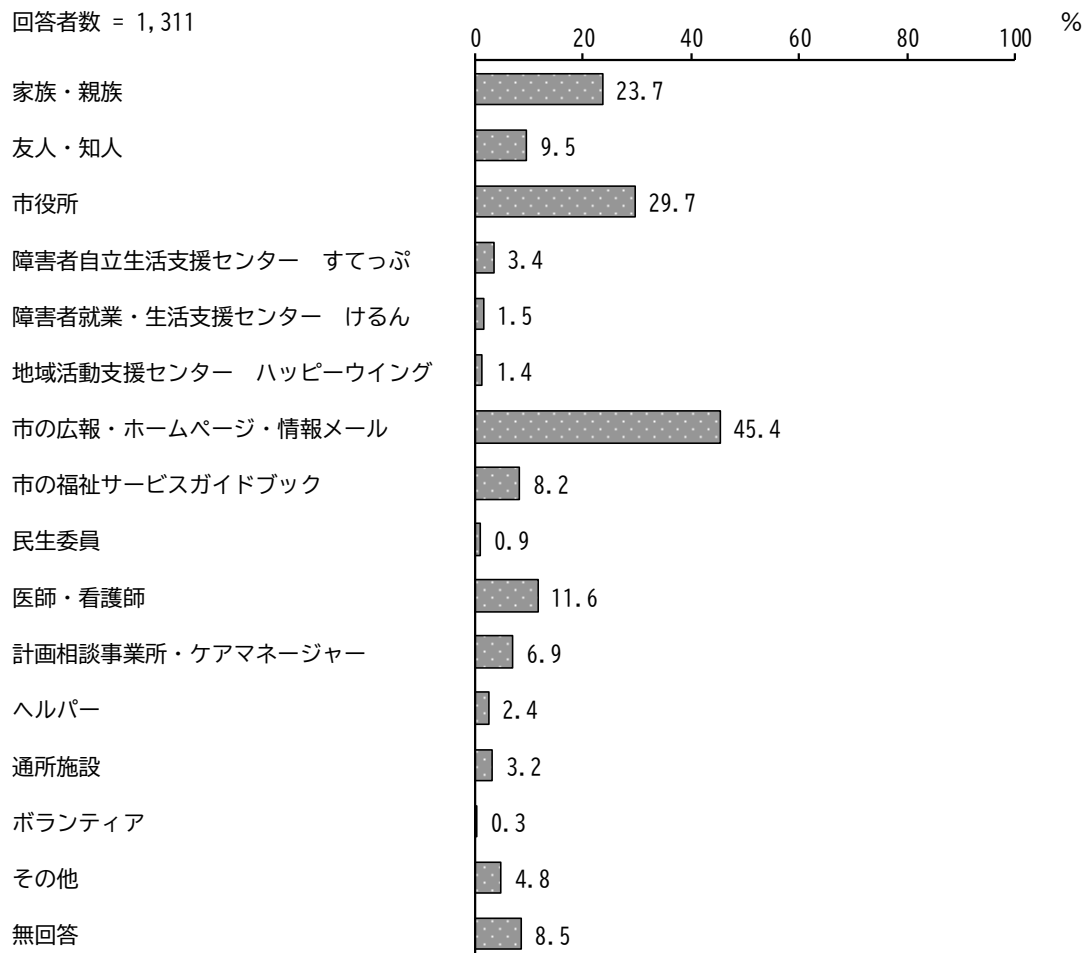
単位：％

区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター つば	障害者就業・生活支援センター ん	地域活動支援センター インター ハッピー ウ イング	職場の人	民生委員
全体	1,311	61.9	18.3	26.2	4.9	1.8	2.3	3.3	1.4
身体障害者	810	62.8	18.4	26.8	2.6	0.7	1.4	2.0	1.9
知的障害者	145	58.6	13.8	22.1	22.1	3.4	1.4	11.0	—
精神障害者	258	53.1	19.0	28.7	7.4	4.7	7.4	3.5	0.8
難病患者	228	64.0	18.4	25.9	1.8	0.4	0.4	3.5	0.4

区分	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	インターネット	相談する人がいない	その他	無回答
全体	22.6	9.9	4.1	6.7	5.4	5.9	5.0	6.4
身体障害者	19.5	10.1	3.8	3.6	4.7	5.8	3.5	7.9
知的障害者	15.2	20.0	8.3	23.4	4.1	2.8	9.0	4.8
精神障害者	39.5	5.4	5.0	8.1	9.3	8.9	8.5	4.3
難病患者	27.6	10.5	3.9	3.1	6.1	7.9	2.6	7.0

問 27 市の行事、福祉、保健に関することは、主に何で知りましたか。[いくつでも○]

「市の広報・ホームページ・情報メール」の割合が45.4%と最も多く、次いで「市役所」の割合が29.7%、「家族・親族」の割合が23.7%となっています。



【障害種別】

市の行事等の情報源については、身体障害者、難病患者は「市の広報・ホームページ・情報メール」（順に 50.2%、46.5%）、知的障害者は「家族・親族」（36.6%）、精神障害者は「市役所」（36.4%）が最も多くなっています。

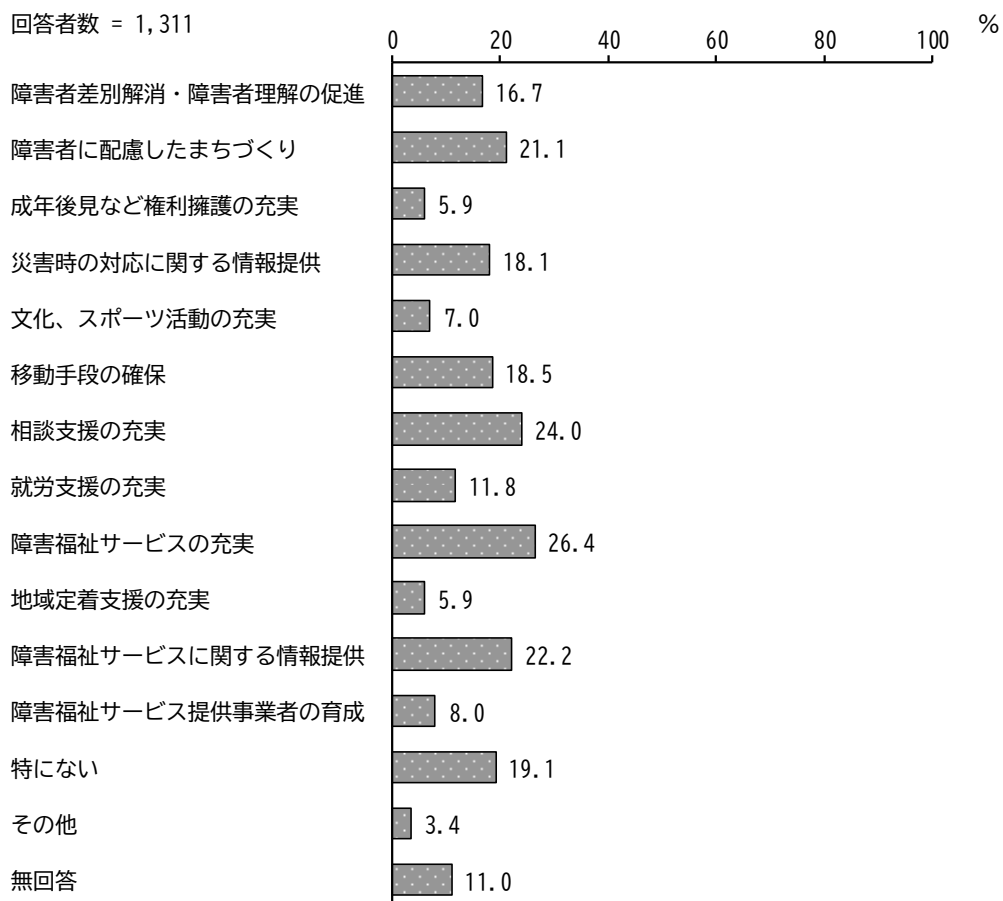
単位：%

区分	回答者数（人）	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター つづ	障害者就業・生活支援センター	地域活動支援センター ハッピーウイング	市の広報・ホームページ・情報メール	市の福祉サービスガイドブック
全体	1,311	23.7	9.5	29.7	3.4	1.5	1.4	45.4	8.2
身体障害者	810	21.9	9.0	27.0	1.4	0.9	0.9	50.2	9.9
知的障害者	145	36.6	9.7	29.0	14.5	4.1	—	29.0	8.3
精神障害者	258	23.6	10.9	36.4	5.4	3.9	4.3	32.9	3.9
難病患者	228	20.2	8.8	31.6	1.3	0.4	0.4	46.5	7.5

区分	民生委員	医師・看護師	計画相談事業所・ケアマネージャー	ヘルパー	通所施設	ボランティア	その他	無回答
全体	0.9	11.6	6.9	2.4	3.2	0.3	4.8	8.5
身体障害者	1.2	10.4	7.8	2.6	1.6	0.5	3.7	9.9
知的障害者	—	4.1	13.1	3.4	13.1	—	7.6	12.4
精神障害者	0.4	16.3	1.9	3.1	3.5	—	7.8	7.0
難病患者	0.4	20.6	7.0	1.8	2.2	—	2.2	7.9

問 28 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]

「障害福祉サービスの充実」の割合が26.4%と最も多く、次いで「相談支援の充実」の割合が24.0%、「障害福祉サービスに関する情報提供」の割合が22.2%となっています。



【障害種別】

今後、市に期待することについては、身体障害者、知的障害者、難病患者は「障害福祉サービスの充実」（順に 25.8%、31.0%、26.8%）、精神障害者は「相談支援の充実」（34.5%）が最も多くなっています。

単位：%

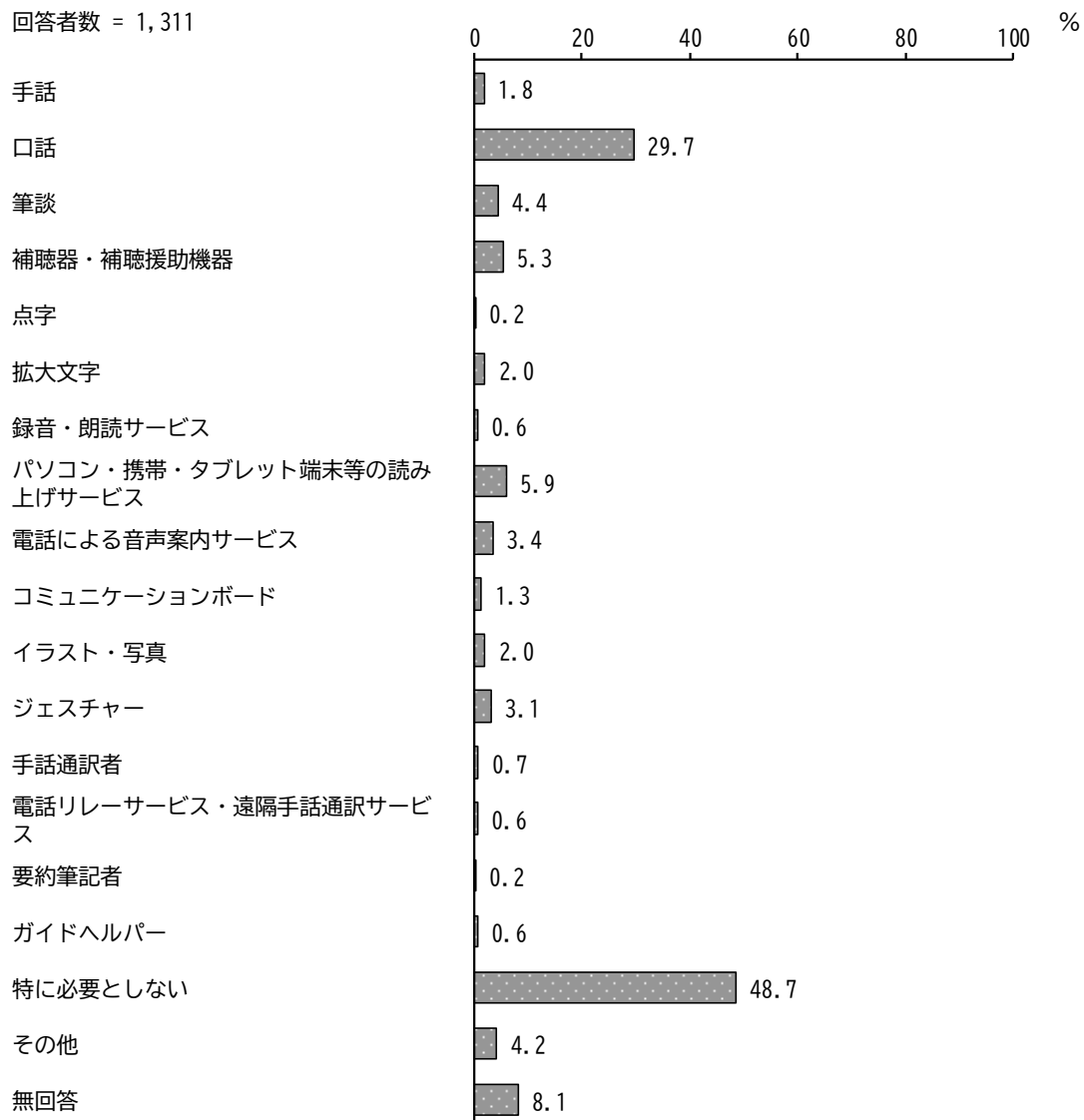
区分	回答者数（人）	障害者差別解消・障害者理解の促進	障害者に配慮したまちづくり	成年後見など権利擁護の充実	災害時の対応に関する情報提供	文化、スポーツ活動の充実	移動手段の確保	相談支援の充実
全体	1,311	16.7	21.1	5.9	18.1	7.0	18.5	24.0
身体障害者	810	13.1	23.5	3.5	19.9	4.9	21.2	20.2
知的障害者	145	24.8	22.1	15.9	17.9	9.7	6.2	29.0
精神障害者	258	31.4	18.6	8.1	10.9	9.3	12.4	34.5
難病患者	228	11.0	11.8	4.8	21.9	7.5	16.2	25.0

区分	就労支援の充実	障害福祉サービスの充実	地域定着支援の充実	障害福祉サービスに関する情報提供	障害福祉サービス提供事業者の育成	特になし	その他	無回答
全体	11.8	26.4	5.9	22.2	8.0	19.1	3.4	11.0
身体障害者	6.3	25.8	4.7	22.6	7.3	19.9	2.5	13.2
知的障害者	17.9	31.0	8.3	21.4	12.4	17.9	6.2	11.7
精神障害者	28.3	31.0	6.6	21.7	12.0	13.6	6.6	8.1
難病患者	9.2	26.8	7.0	25.0	5.7	18.4	3.1	11.4

## (8) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 29 あなたは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。[いくつでも○]

「特に必要としない」の割合が 48.7%と最も多く、次いで「口話」の割合が 29.7%となっています。



【障害種別】

必要とするコミュニケーションの支援については、全ての障害で「特に必要としない」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タブレット端末等の読み上げサービス	電話による音声案内サービス
全体	1,311	1.8	29.7	4.4	5.3	0.2	2.0	0.6	5.9	3.4
身体障害者	810	2.3	28.1	5.4	7.9	0.2	2.6	0.7	6.7	4.6
知的障害者	145	2.1	37.2	5.5	—	—	—	0.7	3.4	0.7
精神障害者	258	1.9	31.8	1.9	0.8	—	0.8	0.4	3.5	1.9
難病患者	228	0.4	29.8	1.3	5.3	—	2.6	0.4	7.0	3.9

区分	コミュニケーションボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	1.3	2.0	3.1	0.7	0.6	0.2	0.6	48.7	4.2	8.1
身体障害者	1.1	1.7	2.8	1.1	0.9	0.2	0.9	46.0	3.2	10.2
知的障害者	3.4	7.6	9.0	—	0.7	—	0.7	40.0	8.3	10.3
精神障害者	1.2	1.2	3.5	0.4	0.4	—	—	51.9	6.2	6.2
難病患者	0.9	—	1.3	0.4	—	0.4	0.4	50.0	2.2	8.3



【障害の種類又は病名別】

単位：%

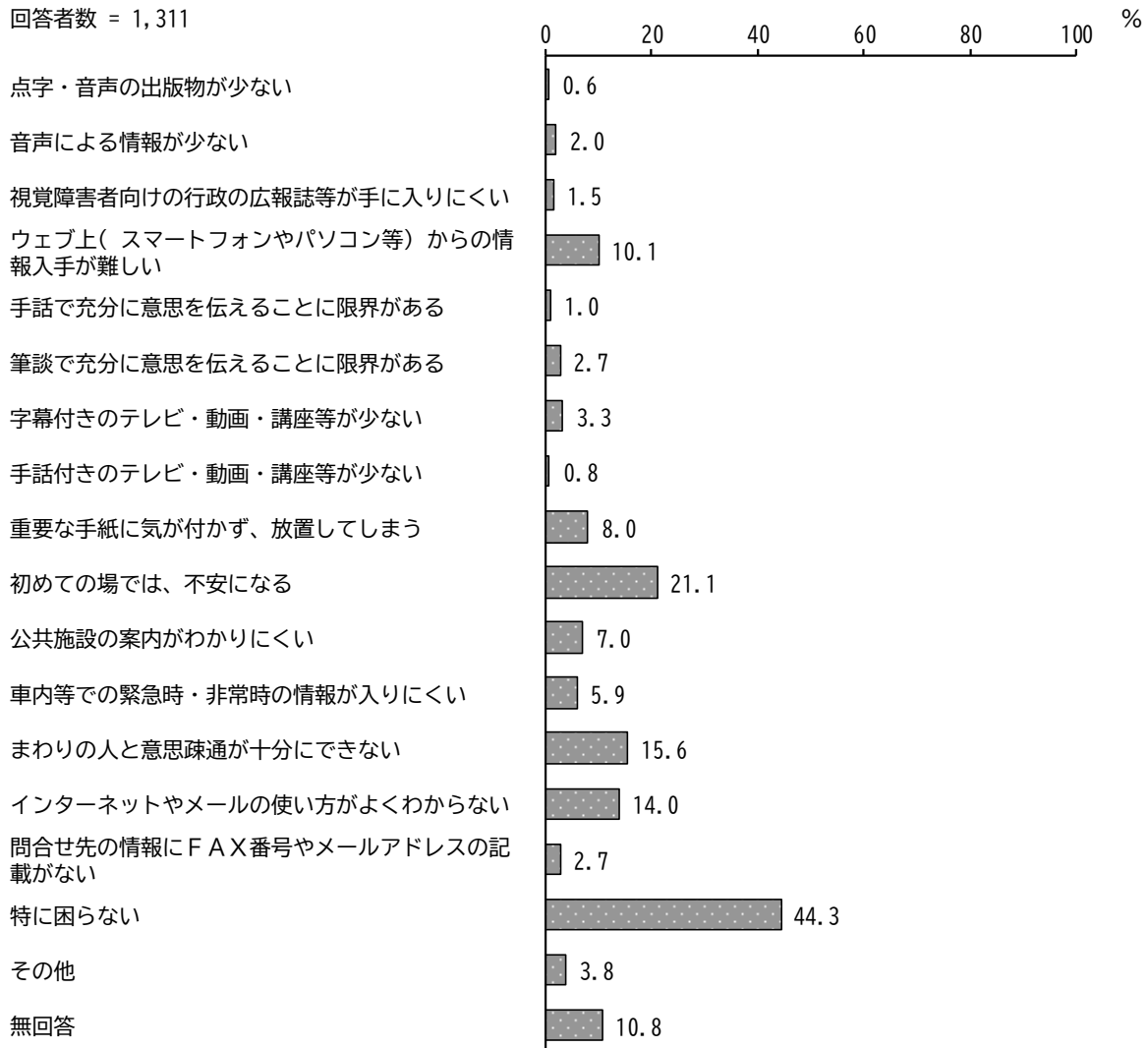
区分	回答者数 (人)	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機 器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タ ブレット端末等 の読み上げサービス	電話による音声案 内サービス
全体	1,311	1.8	29.7	4.4	5.3	0.2	2.0	0.6	5.9	3.4
肢体不自由	352	0.9	28.7	2.0	1.7	—	1.7	0.6	4.5	4.0
視覚障害	67	—	43.3	—	3.0	3.0	19.4	6.0	11.9	9.0
聴覚障害	84	16.7	35.7	40.5	52.4	1.2	3.6	1.2	10.7	4.8
音声・言語障害	40	12.5	32.5	22.5	5.0	—	5.0	—	10.0	5.0
内部障害	175	—	21.7	0.6	5.1	—	1.1	—	5.7	5.1
知的障害	130	0.8	38.5	6.9	—	—	—	0.8	3.1	0.8
統合失調症	96	3.1	41.7	2.1	2.1	—	1.0	—	5.2	3.1
うつ病	106	1.9	30.2	3.8	0.9	—	0.9	1.9	4.7	1.9
双極性障害	27	3.7	37.0	3.7	—	—	—	—	3.7	3.7
神経症	33	—	36.4	3.0	3.0	—	3.0	—	12.1	—
てんかん	54	3.7	29.6	11.1	—	—	1.9	1.9	7.4	1.9
睡眠障害	44	2.3	34.1	9.1	2.3	—	2.3	4.5	11.4	4.5
発達障害	73	2.7	30.1	4.1	—	—	—	—	2.7	1.4
高次脳機能障害	29	—	48.3	3.4	3.4	—	3.4	—	10.3	3.4
難病	232	0.4	31.5	1.7	4.7	—	1.7	0.4	6.9	2.2

区分	コミュニケーション ボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービ ス・遠隔手話通訳サ ービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	1.3	2.0	3.1	0.7	0.6	0.2	0.6	48.7	4.2	8.1
肢体不自由	0.9	1.4	2.3	—	0.3	—	0.3	49.1	4.3	11.1
視覚障害	—	4.5	1.5	—	—	—	9.0	26.9	—	9.0
聴覚障害	4.8	4.8	9.5	10.7	7.1	1.2	1.2	14.3	6.0	4.8
音声・言語障害	15.0	10.0	27.5	2.5	2.5	2.5	—	17.5	7.5	12.5
内部障害	—	1.7	0.6	—	—	—	0.6	57.1	3.4	10.3
知的障害	3.1	7.7	10.0	—	0.8	—	0.8	38.5	8.5	9.2
統合失調症	2.1	2.1	3.1	1.0	1.0	—	—	41.7	5.2	6.3
うつ病	0.9	2.8	2.8	—	—	—	—	50.9	7.5	5.7
双極性障害	7.4	—	3.7	—	—	—	—	55.6	3.7	3.7
神経症	—	—	—	—	—	—	—	42.4	12.1	9.1
てんかん	7.4	9.3	13.0	—	—	—	—	42.6	11.1	11.1
睡眠障害	—	4.5	2.3	—	—	—	—	40.9	13.6	6.8
発達障害	2.7	4.1	5.5	—	—	—	—	53.4	9.6	1.4
高次脳機能障害	—	3.4	3.4	—	—	—	—	27.6	3.4	13.8
難病	0.9	—	2.2	—	—	0.4	—	49.6	3.9	7.3

問 30 あなたが情報入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ったり不便に思うことはありますか。[いくつでも○]

「特に困らない」の割合が44.3%と最も多く、次いで「初めての場では、不安になる」の割合が21.1%、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が15.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に不便に思うことについては、身体障害者、難病患者は「特に困らない」（順に 48.3%、52.2%）、知的障害者は「まわりの人と意思疎通が十分にできない」（39.3%）、精神障害者は「初めての場では、不安になる」（44.6%）が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	ウェブ上（スマートフォンやパソコン等）からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	1,311	0.6	2.0	1.5	10.1	1.0	2.7	3.3	0.8	8.0
身体障害者	810	0.6	2.5	1.9	9.6	1.4	3.1	4.6	1.2	6.9
知的障害者	145	0.7	2.8	2.1	12.4	—	4.1	—	0.7	10.3
精神障害者	258	0.8	1.2	1.6	9.3	1.2	0.8	2.7	—	15.1
難病患者	228	—	1.8	1.8	9.6	0.4	0.4	0.9	—	6.1

区分	初めての場では、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	その他	無回答
全体	21.1	7.0	5.9	15.6	14.0	2.7	44.3	3.8	10.8
身体障害者	13.3	6.3	5.8	11.2	15.4	2.0	48.3	3.3	12.1
知的障害者	35.9	11.0	11.7	39.3	12.4	4.1	27.6	4.8	15.2
精神障害者	44.6	9.7	3.1	25.2	11.6	4.7	30.2	6.6	6.2
難病患者	13.2	3.9	4.8	8.8	12.3	0.9	52.2	3.5	12.7

【障害の種類又は病名別】

単位：%

区分	回答者数(人)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者向けの行政の広報誌等が手に入りにくい	ウェブ上(スマートフォンやパソコン等)からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・動画・講座等が少ない	重要な手紙に気が付かず、放置してしまう
全体	1,311	0.6	2.0	1.5	10.1	1.0	2.7	3.3	0.8	8.0
肢体不自由	352	0.3	1.4	0.3	11.1	0.3	1.1	2.3	0.9	5.4
視覚障害	67	7.5	13.4	16.4	17.9	1.5	3.0	3.0	1.5	19.4
聴覚障害	84	1.2	3.6	2.4	10.7	10.7	20.2	29.8	7.1	8.3
音声・言語障害	40	—	7.5	—	10.0	2.5	22.5	7.5	7.5	12.5
内部障害	175	0.6	0.6	—	7.4	—	0.6	1.1	—	6.9
知的障害	130	0.8	3.1	2.3	14.6	—	5.4	—	0.8	11.5
統合失調症	96	—	2.1	1.0	9.4	3.1	2.1	1.0	—	9.4
うつ病	106	1.9	1.9	0.9	10.4	0.9	1.9	4.7	—	17.9
双極性障害	27	3.7	—	3.7	—	—	—	—	—	25.9
神経症	33	—	—	—	9.1	—	—	—	—	9.1
てんかん	54	—	5.6	1.9	11.1	1.9	3.7	1.9	—	9.3
睡眠障害	44	—	4.5	—	20.5	—	4.5	4.5	—	15.9
発達障害	73	1.4	1.4	1.4	6.8	—	1.4	—	—	21.9
高次脳機能障害	29	—	—	—	20.7	—	—	—	—	17.2
難病	232	—	1.3	0.9	9.5	0.4	0.9	1.3	0.4	4.7

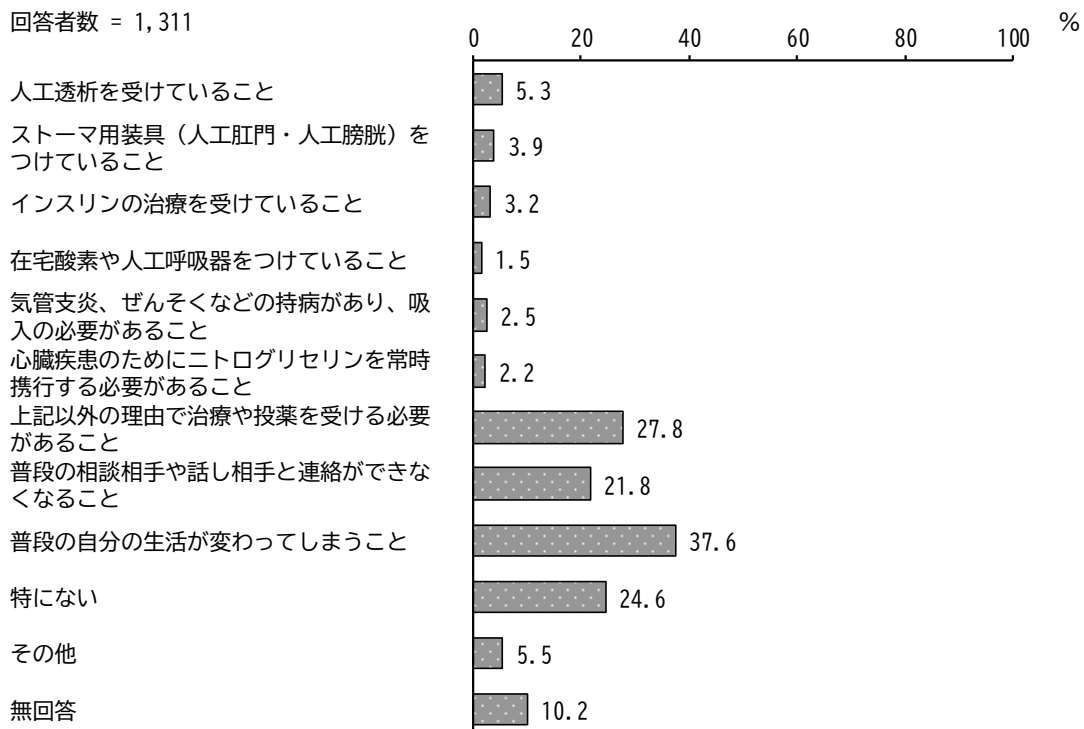
区分	初めての場では、不安になる	公共施設の案内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	特に困らない	その他	無回答
全体	21.1	7.0	5.9	15.6	14.0	2.7	44.3	3.8	10.8
肢体不自由	12.5	6.5	6.3	13.1	16.5	1.4	49.7	3.4	11.4
視覚障害	25.4	11.9	7.5	11.9	29.9	1.5	28.4	4.5	10.4
聴覚障害	17.9	6.0	17.9	27.4	14.3	8.3	20.2	8.3	13.1
音声・言語障害	22.5	15.0	10.0	52.5	27.5	7.5	20.0	7.5	7.5
内部障害	8.6	4.0	4.0	4.6	14.9	1.7	58.3	2.9	11.4
知的障害	41.5	13.8	12.3	43.8	15.4	4.6	25.4	5.4	11.5
統合失調症	45.8	7.3	3.1	25.0	9.4	4.2	30.2	5.2	7.3
うつ病	49.1	17.0	4.7	29.2	15.1	8.5	29.2	9.4	4.7
双極性障害	48.1	18.5	3.7	25.9	3.7	7.4	29.6	3.7	3.7
神経症	54.5	15.2	6.1	36.4	15.2	3.0	21.2	6.1	6.1
てんかん	37.0	3.7	11.1	37.0	13.0	5.6	35.2	3.7	7.4
睡眠障害	47.7	15.9	4.5	29.5	15.9	6.8	27.3	6.8	6.8
発達障害	47.9	13.7	5.5	35.6	5.5	4.1	31.5	9.6	2.7
高次脳機能障害	17.2	3.4	10.3	31.0	17.2	3.4	17.2	6.9	13.8
難病	13.8	4.3	4.3	9.5	11.2	1.3	53.0	4.3	11.2

## (9) 災害時の対応について

問 31 災害発生時、数日間医療機関や福祉サービス等を利用できないことが想定されますが、心身の健康面や生活面で困ることについて、どのようなことがありますか。  
[いくつでも○]

「普段の自分の生活が変わってしまうこと」の割合が 37.6%と最も多く、次いで「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること」の割合が 27.8%、「特にない」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【障害種別】

災害発生時、困ることについては、全ての障害で「普段の自分の生活が変わってしまうこと」が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数（人）	人工透析を受けていること	ストーマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	吸入の必要があること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のために二トログリセリンを常時携帯する必要があること
全体	1,311	5.3	3.9	3.2	1.5	2.5	2.2	
身体障害者	810	8.3	6.2	3.8	1.9	2.2	3.1	
知的障害者	145	0.7	0.7	0.7	—	—	0.7	
精神障害者	258	0.4	—	2.7	0.4	5.4	1.9	
難病患者	228	28.1	4.4	5.7	1.8	0.9	0.9	

区分	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普通の相談相手や話し相手と連絡ができなくなること	普段の自分の生活が変わってしまうこと	特になし	その他	無回答
全体	27.8	21.8	37.6	24.6	5.5	10.2
身体障害者	25.2	17.7	31.9	24.7	5.2	11.6
知的障害者	16.6	33.8	50.3	27.6	3.4	13.8
精神障害者	38.8	33.7	54.7	17.8	7.8	6.6
難病患者	26.8	16.7	31.1	18.0	6.1	10.1

【障害の種類又は病名別】

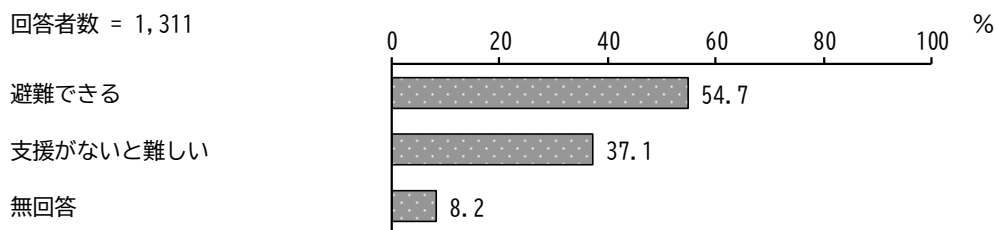
単位：%

区分	回答者数（人）	人工透析を受けていること	ストーマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のために二トログリセリンを常時携帯する必要があること
全体	1,311	5.3	3.9	3.2	1.5	2.5	2.2
肢体不自由	352	2.0	3.1	3.1	2.3	1.7	2.3
視覚障害	67	6.0	—	9.0	4.5	1.5	6.0
聴覚障害	84	1.2	1.2	2.4	1.2	4.8	3.6
音声・言語障害	40	2.5	—	2.5	—	—	—
内部障害	175	17.1	13.7	6.9	1.7	1.1	5.7
知的障害	130	0.8	—	1.5	—	—	0.8
統合失調症	96	—	—	3.1	1.0	3.1	—
うつ病	106	—	—	4.7	0.9	6.6	3.8
双極性障害	27	—	—	3.7	—	14.8	—
神経症	33	—	—	3.0	3.0	3.0	—
てんかん	54	—	—	—	—	—	1.9
睡眠障害	44	—	—	6.8	2.3	6.8	6.8
発達障害	73	—	—	1.4	—	5.5	—
高次脳機能障害	29	6.9	—	6.9	—	3.4	—
難病	232	8.2	4.3	3.9	2.2	2.6	2.6

区分	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普段の相談相手や話し相手と連絡ができなくなること	普段の自分の生活が変わってしまうこと	特にない	その他	無回答
全体	27.8	21.8	37.6	24.6	5.5	10.2
肢体不自由	26.7	19.3	36.1	26.1	4.8	11.4
視覚障害	28.4	26.9	44.8	19.4	7.5	10.4
聴覚障害	15.5	26.2	28.6	35.7	10.7	13.1
音声・言語障害	32.5	17.5	30.0	25.0	5.0	20.0
内部障害	38.9	13.7	29.1	13.7	4.6	7.4
知的障害	18.5	36.9	56.2	25.4	4.6	10.8
統合失調症	36.5	32.3	56.3	14.6	8.3	7.3
うつ病	42.5	38.7	57.5	16.0	8.5	7.5
双極性障害	44.4	44.4	55.6	18.5	7.4	3.7
神経症	45.5	48.5	66.7	9.1	12.1	9.1
てんかん	50.0	35.2	55.6	20.4	3.7	5.6
睡眠障害	50.0	40.9	68.2	11.4	11.4	4.5
発達障害	23.3	28.8	52.1	30.1	8.2	5.5
高次脳機能障害	27.6	10.3	34.5	20.7	3.4	17.2
難病	34.1	19.0	31.5	22.0	8.6	9.5

問 32 災害発生時に自力で避難することができますか。[1つに〇]

「避難できる」の割合が 54.7%、「支援がないと難しい」の割合が 37.1%となっています。



【障害種別】

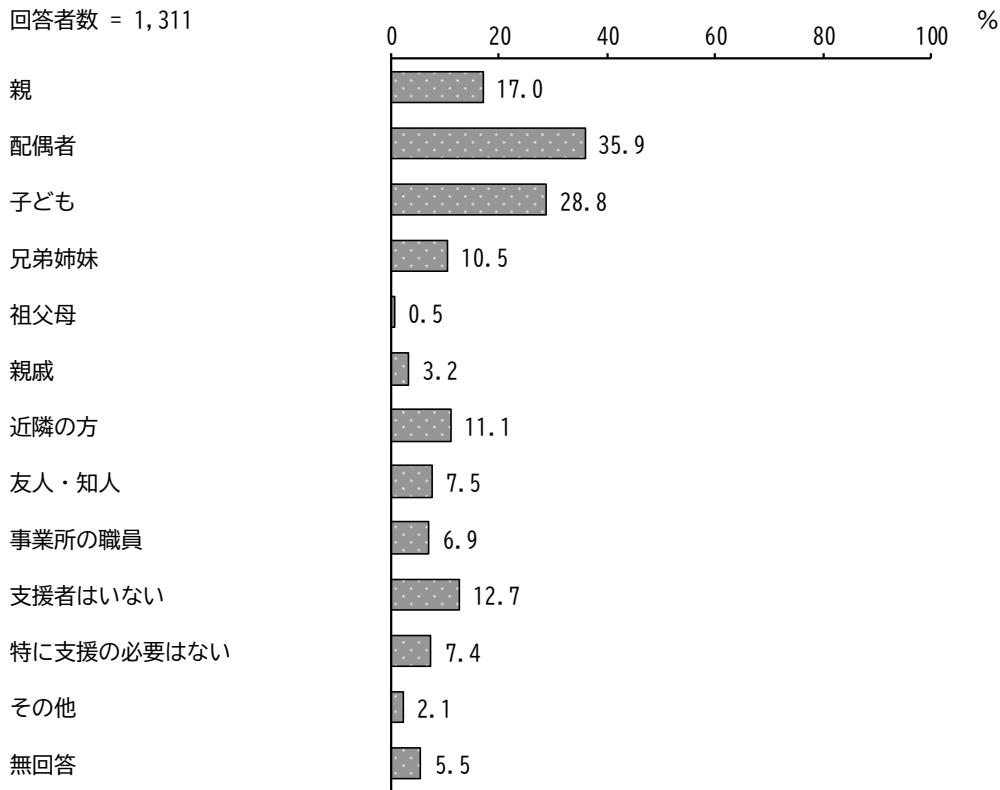
単位：%

区分	回答者数 (人)	避難 できる	い 支援 がない と 難 し	無 回 答
全体	1,311	54.7	37.1	8.2
身体障害者	810	51.9	39.3	8.9
知的障害者	145	30.3	57.9	11.7
精神障害者	258	60.9	31.4	7.8
難病患者	228	59.6	30.3	10.1



問 33 災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人は誰ですか。[いくつでも○]

「配偶者」の割合が 35.9%と最も多く、次いで「子ども」の割合が 28.8%、「親」の割合が 17.0%となっています。



【障害種別】

災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人について、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に 41.6%、43.9%)、知的障害者、精神障害者「親」(順に 59.3%、34.9%) が最も多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	近隣の方	友人・知人	事業所の職員	支援者はいない	特に支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,311	17.0	35.9	28.8	10.5	0.5	3.2	11.1	7.5	6.9	12.7	7.4	2.1	5.5
身体障害者	810	7.3	41.6	35.9	7.2	0.1	2.8	12.7	7.0	4.2	13.0	6.5	2.0	6.2
知的障害者	145	59.3	6.2	2.1	25.5	3.4	2.1	6.2	3.4	31.7	0.7	3.4	4.1	6.9
精神障害者	258	34.9	22.1	10.1	16.3	—	2.7	6.6	9.3	6.6	19.4	8.1	2.3	5.0
難病患者	228	7.0	43.9	35.1	12.3	—	4.4	11.4	6.6	3.5	9.6	10.1	0.9	6.6